

平成30年度

大分市美術館

年 報

目次

1. 運営方針.....	4
2. 沿革.....	5
3. 展覧会事業.....	6
1. 特別展.....	6
2. 常設展.....	33
3. サマー企画.....	49
4. まちなかアートフルロード推進事業.....	53
4. 教育普及事業.....	55
1. 文化・芸術講座.....	55
2. アートカレッジ.....	55
3. 美術館で音楽会.....	56
4. 子どものための講座.....	57
5. 美術館出前教室.....	58
6. 職場体験.....	59
7. ボランティア研修講座.....	59
8. ボランティア入門講座.....	59
9. ボランティア活動.....	60
10. 博物館実習.....	61
11. 各種刊行物.....	62
5. 資料収集事業.....	63
1. 美術品等収集事業.....	63
2. 平成30年度美術作品貸出実績.....	65
3. 所蔵図書.....	66
4. 所蔵映像資料.....	66
6. 管理運営.....	67
1. 職員数.....	67
2. 事務分掌.....	67
3. 利用状況.....	68
4. 建築設備概要.....	69
5. フロア別面積.....	71
6. 決算見込.....	72
7. 利用案内.....	72
8. 条例.....	72
9. 条例施行規則.....	72
7. アートプラザ.....	73

1. 運営方針.....	73
2. 施設概要.....	73
3. 業務内容.....	74
4. 現代美術作品—60' s ホールでの常設展示—（大分市美術館所蔵）	75
（別添）磯崎新建築模型展示リスト.....	76
5. 利用案内.....	77
6. 利用状況.....	77
7. アートプラザ条例.....	77
8. アートプラザ条例施行規則.....	77

1. 運営方針

大分市美術館は、緑豊かな上野丘子どものもり公園内に位置し、「たのしんで・みて・まなぶ」美術館として、年間を通じて所蔵の美術品が鑑賞できる常設展やさまざまな優れた分野の美術を紹介する特別展の開催、各種講座・講演会の開催など、子どもから大人までだれもが幅広く楽しめる生涯学習施設としての美術館運営をめざしている。

そのために、豊後南画や大分市にゆかりのある作家の優れた作品などの収集保存活動をはじめとし、調査研究活動、展示活動、教育普及活動、広報活動という5部門の活動を通じて、文化・芸術の振興につとめている。

また、特色ある地域の美術文化情報を広く発信し、開かれた美術館として市民との協働による運営を推進している。

2. 沿革

昭和 62(1987)年	6月	市長、6月議会において、美術館建設を表明 教育委員会社会教育課を所管事務担当とする
昭和 63(1988)年	8月	大分市美術館基本構想委員会設置(委員 15名、会長高山辰雄画伯)
平成元(1989)年	9月	大分市美術館基本構想委員会が大分市美術館基本構想を答申
平成 2(1990)年	2月	大分市美術館建設委員会設置(委員 17名、会長高山辰雄画伯)
	4月	教育委員会庶務課に美術館建設事務従事を置く
	5月	美術館建設予定地を上野丘陵地に決定 (第2回大分市美術館建設委員会)
平成 3(1991)年	4月	設計者を内井昭蔵建築設計事務所と決定 (指名5社のプロポーザル方式、第4回大分市美術館建設委員会)
	9月	上野丘公園が「平成記念子どものもり公園(建設省)」に指定される
	10月	市長、「美術館建設計画の見直し」を発表
平成 5(1993)年	4月	教育委員会文化振興課を所管事務担当とする
平成 7(1995)年	9月	美術館基本・実施設計委託(内井昭蔵建築設計事務所)
	12月	美術館基本設計終了
平成 8(1996)年	4月	教育委員会に美術館建設準備室を設置
	5月	美術館実施設計完了
	9月	美術館敷地造成工事着工
	12月	美術館敷地造成工事完成 美術館新築工事着工
平成 10(1998)年	6月	美術館本体工事完成
	9月	美術館外構工事完成「大分市美術館条例」制定
平成 11(1999)年	2月	17日、開館
平成 12(2000)年	11月	第41回建築業協会賞受賞
平成 14(2002)年	2月	観覧者が50万人を超える
平成 16(2004)年	7月	16日、皇太子殿下下り啓
平成 18(2006)年	4月	機構改革により二課体制を一課とし、美術振興課設置
平成 19(2007)年	8月	観覧者が100万人を超える
平成 20(2008)年	11月	秋篠宮殿下お成り
平成 21(2009)年	2月	開館10周年記念式典挙行
平成 23(2011)年	8月	観覧者が150万人を超える
平成 25(2013)年	8月	観覧者が200万人を超える
平成 28(2016)年	2月	観覧者が250万人を超える
平成 30(2018)年	8月	観覧者数が300万人を超える
平成 31(2019)年	1月	開館20周年記念式典挙行

3. 展覧会事業

3. 1 特別展

3. 1. 1. 開館 20 周年記念 ふるさと 大分の洋画家たち

概要 私たちのふるさと大分は、明治初期にフランスに渡った諫山麗吉をはじめ、明治後期から昭和初期にかけて活躍した片多徳郎、戦後、県美術協会を復興させた権藤種男、パリで活躍した佐藤敬、県立芸術短期大学学長を務めた宇治山哲平、自由美術協会等で活躍した糸園和三郎など、数多くの優れた洋画家たちを輩出している。

本展では、諫山麗吉(1851～1906)から約 100 年にわたる大分出身・ゆかりの洋画家たちの画業の足跡を大分市美術館・大分県立美術館・別府市美術館が所蔵する秀作の数々で紹介した。

会 期 平成 30 年 4 月 13 日（金）～5 月 6 日（日） 公開日数 21 日間

主 催 大分市美術館

後 援 大分合同新聞社、NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、エフエム大分、J:COM 大分ケーブルテレコム

出品点数 洋画 74 点及び関連資料

観覧者数 3,857 人

観覧料 一般 800（600）円／高大生 600（400）円、中学生以下無料
※（ ）内は 20 人以上の団体料金

関連行事 ■講演会①（無料）

日 時 4 月 14 日 午後 2 時～3 時

場 所 美術館ハイビジョンホール

講 師 渡辺恭英氏（大分県芸術文化振興会議 顧問）

参加者 30 人

■講演会②（無料）

日 時 4 月 21 日 午後 2 時～3 時

場 所 美術館ハイビジョンホール

講 師 加藤康彦氏（大分県立美術館 副館長）

参加者 43 人

■講演会③（無料）

日 時 4 月 28 日 午後 2 時～3 時

場 所 美術館ハイビジョンホール

講 師 菅章（大分市美術館 館長）

参加者 68 人

展示解説 ■美術館職員による展示解説（要観覧料）
日 時 会期中毎週水曜日 午後2時～
場 所 企画展示室
参加者 23人

印刷物 ポスターB2判、チラシA4判

関連記事 「豊後から西洋見つめる「ふるさと大分の洋画家たち」始まる」『大分合同新聞』
4月13日
「ふるさと大分の洋画家たち＝上＝片多徳郎「湖畔春色」」『大分合同新聞』
4月14日
「ふるさと大分の洋画家たち＝下＝権藤種男「T嬢の像」」『大分合同新聞』
4月21日
(担当 大神、山之上)

ふるさと 大分の洋画家たち 目録

第1章 近代洋画の黎明

No.	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	所蔵先
1	諫山麗吉	沈墮之瀧	1901	88.5 × 130.0	油彩・キャンバス	大分県立美術館
2	藤米岳	花鳥図	1875	各117.2 × 33.0	絹本墨画淡彩	大分市美術館
3	藤米岳	竹石霜柯図	1880	112.4 × 30.9	紙本墨画淡彩	大分市美術館
4	片多徳郎	能面の図	1914	32.5 × 45.0	油彩・キャンバス	大分市美術館
5	片多徳郎	湖畔春色	1916	80.5 × 130.4	油彩・キャンバス	大分市美術館

第2章 片多徳郎と西ヶ原グループ

No.	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	所蔵先
6	片多徳郎	中禅寺湖	1919	60.0 × 80.0	油彩・キャンバス	別府市美術館
7	片多徳郎	牡丹花三輪	1922	50.0 × 59.5	油彩・キャンバス	大分市美術館
8	権藤種男	桜並木	1930	45.0 × 58.0	油彩・キャンバス	大分市美術館
9	権藤種男	丁嬢の像	1947	90.9 × 72.7	油彩・キャンバス	大分県立美術館
10	菅一郎	緑陰散髪	1942	130.3 × 97.0	油彩・キャンバス	大分県立美術館
11	保田善作	洗濯	1925	90.0 × 116.0	油彩・キャンバス	大分県立美術館
12	江藤純平	椿	1931	73.0 × 91.0	油彩・キャンバス	大分市美術館
13	佐藤敬	暁	1940	130.5 × 193.6	油彩・キャンバス	大分市美術館

第3章 戦前・戦後の教育者たち

No.	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	所蔵先
14	山下鉄之輔	別府山景	不詳	39.0 × 51.0	油彩・キャンバス	大分市美術館
15	山下鉄之輔	人物	1930	80.5 × 60.5	油彩・キャンバス	大分県立美術館
16	武藤完一	高崎山遠望(別府春木川にて)	1938	23.2 × 32.4	油彩・板	大分市美術館
17	武藤完一	冬の海(白木にて)	1938頃	31.0 × 40.2	油彩・キャンバス	大分市美術館
18	浜田九一郎	岩屋寺石仏	1955	128.0 × 96.0	油彩・キャンバス	大分市美術館
19	田中昇	アカシア	1960	72.0 × 90.9	油彩・キャンバス	大分市美術館

第4章 大分県美術協会の創設と歴代の会長たち

No.	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	所蔵先
20	権藤種男	庭	1949	70.0 × 89.0	油彩・キャンバス	大分市美術館
21	権藤種男	高崎山遠望	1950	72.7 × 90.9	油彩・キャンバス	大分市立上野ヶ丘中学校
22	宮崎豊	カイロの朝	1969	72.7 × 91.0	油彩・キャンバス	別府市美術館
23	進来哲	面を持つ女	1980	158.0 × 127.0	油彩・キャンバス	大分市美術館

No.	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	所蔵先
24	仲町謙吉	仏Ⅱ	1983	193.5 × 258.0	油彩・キャンバス	大分市美術館
25	脇正人	コンポジションB	1986	145.5 × 112.1	油彩・キャンバス	大分市美術館
26	脇坂秀樹	残象	1964	130.0 × 162.0	油彩・キャンバス	大分市美術館
27	渡辺恭英	断裂Ⅱ	1985	192.5 × 160.5	油彩・キャンバス	大分市美術館
28	小川善規	平原の月	2006	130.3 × 130.3	油彩・キャンバス	個人
29	日名子金一郎	作品Ⅰ	1985	112.0 × 162.0	油彩・キャンバス	大分市美術館

第5章 海外で活躍した洋画家たち

No.	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	所蔵先
30	荒井龍男	紫の中	1952	195.5 × 140.2	油彩・キャンバス	大分県立美術館
31	佐藤敬	空間の歴史(黒)	1965	162.3 × 130.2	油彩・キャンバス	大分市美術館
32	吉村益信	菜の花畑	1974	97.2 × 162.0	油彩・キャンバス	大分市美術館
33	風倉匠	アウグステヌスの時間	1969	193.9 × 97.0	油彩・キャンバス	大分市美術館

第6章 県外で活躍した洋画家たち

No.	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	所蔵先
34	江藤純平	オリーブの畑	1982	90.5 × 116.0	油彩・キャンバス	大分市美術館
35	江藤哲	灯台	不詳	132.0 × 163.5	油彩・キャンバス	別府市美術館
36	宇治山哲平	絵画No.257-259 (凜)	1971	97.0 × 453.4	油彩・キャンバス	大分市美術館寄託
37	糸園和三郎	小卓上の枯れ花	1962頃	45.5 × 53.0	油彩・キャンバス	大分市美術館
38	糸園和三郎	鳥の壁	1963	72.7 × 60.6	油彩・キャンバス	大分市美術館
39	糸園和三郎	四つのビルディング	1974	130.0 × 97.0	油彩・キャンバス	大分市美術館
40	幸壽	別れを惜しむ狂女	1987	160.8 × 129.0	油彩・キャンバス	大分市美術館
41	油野誠一	デソリヤの街	1953	181.8 × 259.1	油彩・キャンバス	大分市美術館
42	矢岡勲	車による(A)	1962	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	大分市美術館
43	工藤和男	琉球の舞	1993	160.0 × 130.0	油彩・キャンバス	大分市美術館
44	中山忠彦	羽根かざりの帽子	1988頃	45.6 × 38.0	油彩・キャンバス	大分市美術館
45	佐藤哲	ニコラス20	2006	194.0 × 162.0	油彩・キャンバス	大分市美術館

第7章 個性的な美術グループ(革新系)

No.	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	所蔵先
46	荒木剛	室内	1949	71.0 × 69.0	油彩・キャンバス	大分市美術館
47	廣瀬通秀	モニュメント	1977	181.8 × 227.3	油彩・キャンバス	大分市美術館
48	神田千里	連鎖する形	1982	112.1 × 145.5	油彩・キャンバス	大分市美術館
49	岩尾秀樹	水田と海	1998	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	大分市美術館

No.	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	所蔵先
50	菅久	記憶の中の風景ノ連	1987	97.0 × 162.0	油彩・キャンバス	大分市美術館
51	荒金透	崇高	1969	65.0 × 65.0	油彩・キャンバス	大分市美術館
52	菅玲子	バスストップ	1976	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	大分市美術館
53	飯尾寿夫	海辺のセレモニー	1981	162.1 × 162.1	油彩・キャンバス	大分市美術館
54	江藤明	MY SPACE	1981	194.0 × 194.0	油彩・キャンバス	大分市美術館
55	西村駿一	ふるさと	1998	160.0 × 128.5	油彩・キャンバス	大分市美術館
56	山崎芳直	ポエジアB	1999	145.5 × 145.5	油彩・キャンバス	大分市美術館
57	児玉成弘	街角91-7	1991	182.0 × 227.0	油彩・キャンバス	大分市美術館
58	十時良	地表の風94-6	1994	162.1 × 162.1	木炭、和紙、アルミホイル他	大分市美術館
59	二宮秀夫	人(Ⅲ)	1983	182.0 × 227.0	油彩・キャンバス	大分市美術館
60	御手洗賢司	予感(未来)	1986	130.0 × 194.0	油彩・キャンバス	大分市美術館
61	松野良治	鋭	1994	162.0 × 162.0	塗料・鉛筆、板	大分市美術館
62	守末利宏	遠き日	2008	194.0 × 162.0	油彩・キャンバス	個人
63	高木岩義	午後の瞑想09-天景	2009	227.0 × 182.0	油彩、デカルコマニー・キャンバス	大分市美術館
64	仲築間英人	朝	2011	162.0 × 194.0	油彩、テンペラ・キャンバス、ポローニャ石膏	個人
65	岡崎健治	想(2)	1977	181.8 × 227.3	油彩・キャンバス	個人
66	後藤龍二	そこにある0403	2004	161.0 × 129.0	油彩・キャンバス	大分市美術館
67	谷口昌之	白と黒'78-1	1978	160.0 × 130.0	油彩・キャンバス	大分市美術館
68	黒川洋孝	私の空間から	2017	116.0 × 116.0	油彩・キャンバス	個人
69	山崎哲一郎	地質時代 (折れまがる化石魚)	1994	163.0 × 163.0	油彩・キャンバス	大分市美術館

第8章 県内在住で日展系公募展に出品する洋画家たち

No.	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	所蔵先
70	熊井惇	楽暫閑	1948	91.0 × 116.7	油彩・キャンバス	大分市美術館
71	多邨常	朝陽	1993	130.5 × 162.0	油彩・キャンバス	大分市美術館
72	利光敏郎	陽光	2015	162.0 × 130.3	油彩・キャンバス	大分市美術館
73	佐藤昇	瀬戸の丘(陶土)	1979	112.0 × 145.0	油彩・キャンバス	大分市美術館
74	石川賢	オストーニ讃Ⅱ	2014	194.0 × 162.0	油彩・キャンバス	大分市美術館

3. 1. 2. アートになった猫たち展

概要 猫は古来より日本人が愛玩し、人々の暮らしに寄り添ってきた動物。猫の愛らしいしぐさや表情、神秘性は芸術家を魅了しており、さまざまな美術作品に登場している。

特に歌川国芳や竹久夢二、藤田嗣治は猫への思いを込めた作品を多く手がけ、猫を愛した芸術家として知られている。

また、浮世絵では猫が女性に寄り添う美人画や、擬人化した猫や化け猫が描かれた「おもちゃ絵」「寄せ絵」が高い人気を博した。

空前の猫ブームが訪れているといわれる現在、本展覧会では現代アートから近代絵画、江戸の浮世絵、海外作家にいたるまで幅広くアートに登場する猫たちを紹介し、猫と人間との深い関わりを探った。

会期 平成30年5月11日（金）～7月1日（日） 公開日数 46日間

主催 大分市美術館、大分合同新聞社、アートになった猫たち展実行委員会

協賛 アンジェリック クリニック 浦田、三井住友銀行

後援 NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、
OAB 大分朝日放送、エフエム大分、J:COM 大分ケーブルテレコム

監修 中右暎（国際浮世絵学会常任理事）

企画協力 E. M. I. ネットワーク

出品点数 猫に関する絵画、彫刻、工芸、資料等 213点

観覧者数 10,776人

観覧料 一般 800（600）円／高大生 600（400）円、中学生以下無料
※（ ）内は前売・20人以上の団体料金

関連行事 ■スペシャルギャラリートーク「人はなぜ猫が好きなのか」（無料）

日時 5月13日 午後2時～3時30分

6月23日 午前10時30分～正午

場所 美術館ハイビジョンホール

講師（5月13日、6月23日）：菅章（当館館長）

ゲスト（6月23日のみ）豊住大輔氏、櫻井暢子氏、古代晃子氏

参加者 5月13日 73人、6月23日 75人

■ぬりえワークショップ「ねこ」（無料）

日時 5月20日 午後2時～4時

場所 美術館研修室

講師 渡邊友美氏（画家）

参加者 22人

■ワークショップ「空き缶でアート 猫」（無料）
日 時 6月17日 午後2時～4時
場 所 美術館研修室
講 師 講師：松垣正喜氏（画家）
参加者 20人

展示解説 ■美術館職員による展示解説（要観覧料）
日 時 会期中毎週水曜日 午後2時～
場 所 企画展示室
参加者 120人

印刷物 ポスターB2判、チラシA4判

関連記事 「アートになった猫たち展」『大分合同新聞』5月5日

（担当 岡村）

アートになった猫たち展 目録

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
1	小林 清親	猫と提灯	1877	36.0×43.5	木版画	
2	高橋 弘明	毬と遊ぶ白猫、黒猫	1929～32頃	23.8×36.0	木版画	
3	高橋 弘明	怒る猫	1929～32頃	25.0×37.0	木版画	
4	大村 廣陽	金鈴の首輪をした白猫と毬	大正～昭和期	24.0×36.0	木版画	
5	徳力 富吉郎	親子猫	1967	37.3×49.0	木版画	
6	徳力 富吉郎	猫と蝶	1967	40.5×52.4	木版画	
7	永瀬 義郎	東洋の旅 上海所見	1929	32.0×24.0	木版画	
8	川上 澄生	私家本「少年少女」の表紙カバーの図	1952	12.2×9.0	木版画	
9	前川 千帆	野の娘たち 女兒と猫	1959	36.2×25.5	木版画	
10	稲垣 知雄	子猫	昭和期	29.0×21.0	木版画	
11	稲垣 知雄	尾長猫	1982	53.4×33.0	木版画	
12	斎藤 清	競艶	1973	30.0×30.0	木版画	
13	関野 準一郎	トランプ	1969	51.0×32.0	木版画	
14	貝原 六一	ピエロとねこ	昭和期	37.0×26.4	シルクスクリーン	
15	宮下 登喜雄	時計と猫	昭和期	23.0×20.0	木版画	
16	宇田川 民生	微笑み返し	2007	23.5×31.5	木版画	
17	大野 隆司	しっぽのない猫たち	1999	22.0×32.0	木版画	
18	弦屋 光溪	アルチンボルドに捧ぐ五題の内 猫	2013	41.5×32.5	木版画	
19	石川真澄(絵) 関岡祐介(彫) 岡田卓也(摺)	KISS今様浮世絵傑作選 「接吻四人衆変妖図」	2015	42.5×30.0	木版画	
20	中右英児創案／亀本 すみれアシスタント	日光の「眠り猫」を抱くモナ・リザ	2016	37.7×29.0	コンピューターグラフィックス	
21	オプリー・ヴァインセント・ピアズリー	黒猫	1894頃	21.5×14.0	石版画	
22	フランツ・フォン・バイロス	創作版画 (黒猫と婦人)	不詳	11.0×10.0	銅版画	
23	フランツ・フォン・バイロス	蔵書票	不詳	15.0×12.0	銅版画	
24	フランツ・フォン・バイロス	蔵書票	不詳	11.6×12.1	銅版画	
25	フランツ・フォン・バイロス	蔵書票	不詳	12.0×10.0	銅版画	
26	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	フランスの大衆紙「GIL BLAS」に掲載された挿絵(紳士の夢)	1891	39.5×26.0	印刷	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
27	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	フランスの大衆紙「GIL BLAS」に掲載された挿絵「La4 Fileuse (紡ぐ女)」「L' Eternel poupee (永遠の人形)」	1894	39.5×26.0	印刷	
28	中右英児創案／亀本すみれアシスタント	ノートルダム寺院に現れた黒猫	2016	24.8×20.0	コンピュータグラフィックス	
29	作者不詳	パリの雑誌に描かれた表紙絵	1908	31.5×24.7	印刷	
30	渡辺 華山	猫と雀	江戸後期	114.0×37.5	日本画 紙本	
31	富岡 鉄斎	睡猫石	1913	15.5×64.0	日本画 絹本	
32	林 雅章	簾越しに猫	江戸～明治	113.7×41.3	日本画 絹本	
33	今尾 景年	向日葵と猫	江戸後期～大正	126.7×51.1	日本画 絹本	
34	鈴木 松年	猫の恋	明治～大正期	21.5×50.0	日本画 紙本扇面	
35	生田 南水	猫句	明治～昭和期	105.5×25.0	日本画 紙本	
36	荒井 寛方	毛づくろいする猫	1926頃	27.1×24.1	日本画 絹本	
37	中村 岳陵	小猫(見立源氏物語女三宮)	大正～昭和期	20.5×35.0	日本画 紙本	
38	晴覧	蹴毬(見立源氏物語 女三宮と柏木)	不詳	99.8×35.5	日本画 絹本	
39	鈴木 朱雀	ペルシャ猫	不詳	42.5×51.5	日本画 絹本	
40	作者不詳	黒猫と蝶	不詳	102.0×38.0	日本画 紙本	
41	宗家 猫八	鈴をつけた猫	昭和期	38.0×49.5	日本画 紙本	
42	西村 欣魚	金魚を狙う猫	昭和～平成	52.2×14.0	日本画 紙本	
43	佐藤 敬	猫を抱いたショールの女	大正～昭和期	37.0×27.0	ペン画	
44	清水 刀根	少女と猫	昭和期	40.8×27.2	油彩・キャンバス	
45	中右 英児	悩める猫	2017	24.2×33.0	油彩	
46	八代 亜紀	愛しいこたち	2016	50.0×60.6	油彩・キャンバス	
47	八代 亜紀	麦わらとねこ	2007	27.3×27.3	油彩・キャンバス	
48	金澤 麻由子	ねえってば	2016	直径30.0	アクリル絵具	
49	金澤 麻由子	ぼくだけ?	2016	直径30.0	アクリル絵具	
50	横山 慶次郎	挿絵原画「ブランコ」ヨウネン社	1905	39.2×18.2	水彩画	
51	作者不詳	挿絵原画 (釣り船)ヨウネン社	1905	22.5×34.0	水彩画	
52	作者不詳	挿絵原画 (家族の食卓)ヨウネン社	1919	22.5×30.4	水彩画	
53	作者不詳	挿絵原画 (養蚕)ヨウネン社	大正期	22.5×30.4	水彩画	
54	正木 卓	楽団の猫「バイオリン」	2016	18.5×14.0×17.5	陶芸アクリル絵具彩色	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
55	正木 卓	楽団の猫「サクスペレーヤー」	2016	21.0×12.5×18.0	陶芸アクリル絵具彩色	
56	正木 卓	化け猫	2016		陶芸アクリル絵具彩色	
57	正木 卓	踊る猫又	2016	高47.5×幅31.0×30.0	陶芸アクリル絵具彩色	
58	小山内 保夫	わるねこ	2013	19.5×20.0×20.0	布人形	
59	布山 幸子	笑福猫	2014	8.0×21.5×16.5		
60	布山 幸子	笑福猫 土鈴	2014	8.5×10.0×6.5		
61	土屋 陽太	猫・宙を見る	2015	31.5×21.0×23.0	銅人形	
62	作者不詳	東南アジアの飾り猫 (2体)	不詳	赤102.0×15.0×14.5 白103.0×14.5×14.5		
63	作者不詳	メキシコの飾り猫	不詳	22.0×24.0×15.0		
64	作者不詳	日本の飾り猫 (2体)	不詳	右26.0×12.5×14.0 左26.5×12.0×13.5		
65	作者不詳	(招き猫)常滑焼 貯金箱「金運招猫」	1945以降	42.0×28.0×25.0		
66	作者不詳	(招き猫)常滑焼 貯金箱「千万両」「百万両」	1945以降	千万32.0×21.5×22.0 百万32.0×24.0×22.0		
67	作者不詳	(招き猫)瀬戸	不詳	右33.5×15.5×17.0 左23.5×10.0×12.0		
68	作者不詳	(招き猫)来福幸萬	不詳	31.5×21.0×20.0		
69	相良人形(山形県) 八代さがりゆうま	「猫に蛸」	2015-16	11.8×5.3×5.0		
70	作者不詳	(招き猫)常滑焼 開運招福 貯金箱「X'mas」	2015-16頃	19.5×13.0×12.0		
71	四代五三郎 九谷八幡窯(米田陶香堂)	(招き猫)九谷焼「ニャンタクロース」	2015-16頃	20.0×13.0×12.5		
72	作者不詳	九谷焼 「おじぎ福助 盛」	不詳	17.8×12.0		
73	竹久 夢二	木版画による港屋の包装紙「黒猫を抱く女」	1914頃	33.5×15.0	木版画	
74	竹久 夢二	記念切手 近代美術8集「黒船屋」	発行日:1980	2.5×1.2	切手	
75	竹久 夢二	黒猫を抱く女 (柳屋版)	1920	31.0×19.0	木版画	
76	キース・ヴァン・ドンゲン	グリーティングカードの表紙絵「Woman with cat 1908年 ミルウォーキー美術館蔵」	不詳	18.0×12.5	印刷グリーティングカード	
77	竹久 夢二	「女十題」 黒猫	1938※夢二没後	42.0×29.0	木版画	
78	正木 卓	夢二へのオマージュ「黒船屋」	2016	58.5×33.5×26.5	陶芸・アクリル絵具彩色	
79	正木 卓	夢二へのオマージュ「黒猫」	2016	31.5×26.0	陶芸・アクリル絵具彩色	
80	竹久 夢二	スケッチ帳より「猫のスケッチ」	1918頃	18.0×25.0	鉛筆	
81	竹久 夢二	「絵入り小唄集 三味線草」	1915	17.0×11.0		

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
82	竹久 夢二	「夢二画手本 クレヨン練習帖」	1923刊行	21.4×14.5		
83	竹久 夢二	竹久夢二 「猫」 竹久不二彦編	1966	各9.5×7.3	木版画35図	
84	藤田 嗣治	芸術家の肖像	1927	45.0×35.0	銅版画	
85	藤田 嗣治	自画像	昭和時代	33.5×24.6	木版画	
86	藤田 嗣治	夢	不詳	55.0×66.0	石版画	
87	藤田 嗣治	白い猫	不詳	32.8×44.5	木版画	
88	作者不詳	新田猫	不詳	98.0×46.7	墨画紙本	
89	岡本 一平	漱石先生	1927	30.0×42.0	墨画彩色 紙本	
90	創案・中右瑛／亀本すみれアシスタント	夏目漱石センセイの頭上で狂喜して踊る「吾輩ハ猫」	2016	27.0×20.2	コンピューターグラフィックス	
91	(カバー表紙) 橋口五葉	夏目漱石「吾輩ハ猫デアル」上編 初版	1905発行	23.0×16.2		
92	(カバー) 橋口五葉	夏目漱石「吾輩ハ猫デアル」中編 復刻版	1906発行			
93	(表紙) 橋口五葉	夏目漱石「吾輩ハ猫デアル」下編 復刻版	1907発行			
94	立原 位貴	一勇斎国芳	2011	39.0×28.0	木版画	
95	歌川 国芳	名誉 右に無敵左り甚五郎	1848頃	35.5×72.5	錦絵大判三枚続き	
96	歌川 国芳	流行逢都絵希代稀物	1852頃	37.0×75.7	錦絵大判三枚続き	
97	北尾 政演	吉原傾城新美人合自筆鏡 滝川 花扇	1784	37.0×48.3	大判錦絵二枚続き	
98	二代喜多川 歌麿	無題 (見立源氏物語女三宮)	1807-22年頃	65.0×21.0	大判錦絵縦二枚続き	
99	溪斎 英泉	無題 (猫を抱いた娘)	1843-47	72.5×23.8	錦絵大判縦二枚続き	
100	歌川 国貞	無題 (着物の裾にじゃれる猫)	1827頃	70.0×23.5	大判錦絵縦二枚続き	
101	歌川 国貞	今様大津絵 三味線芸者	1807-27頃	35.5×25.0	錦絵大判	
102	歌川 国貞	大津ゑづくし	1807-27頃	36.8×25.0	錦絵大判	
103	歌川 国貞	春交加 をいはね	1807-27頃	38.0×26.0	錦絵大判	
104	歌川 国貞	一步線香即席噺 三笑亭可楽	1815-27	37.0×25.0	錦絵大判	
105	歌川 国貞	絵兄弟忠臣蔵七段目	1827頃	35.0×23.3	錦絵大判	
106	三代歌川豊国 (国貞改め)	源氏六條乃花	1854	73.2×35.8	錦絵大判三枚続き	
107	三代歌川豊国 (国貞改め)	高名美人揃 みつあい姫	1844以降	22.5×29.3	団扇絵	
108	歌川 国芳	虫撰 こがねむし	1844頃	34.0×25.3	錦絵大判	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
109	歌川 国芳	婦女鏡 豊	1844頃	35.9×25.3	錦絵大判	
110	歌川 国芳	妙でんす十六利勘 降那損者	1845頃	35.5×24.1	錦絵大判	
111	歌川 国芳	艶姿十六女仙 初平	1847-48頃	36.0×24.0	錦絵大判	
112	歌川 国芳	山海愛度図会 はやくきめたい 播州高砂蛸	1852	35.5×24.2	錦絵大判	
113	歌川 国芳	一心太介	不詳	34.5×48.0	錦絵大判二枚続き	
114	歌川 豊広	猫と胡蝶	不詳	34.0×7.2	細版短冊	
115	葛飾 北斎	「伝神開手 北斎漫画十四編」より猫図	1814-78	22.8×15.8	錦絵中判	
116	中右英児創案／亀本すみれアシスタント	歌川国安の「風流娘手遊」の諧謔パロディ	2016	29.0×19.5	コンピュータグラフィックス	
117	中右英児創案／亀本すみれアシスタント	北斎の幽霊画 こはだ小平二とねこ	2016	28.0×20.0	コンピュータグラフィックス	
118	中右英児創案／亀本すみれアシスタント	写楽の江戸兵衛と同じポーズをとる猫	2016	28.7×19.5	コンピュータグラフィックス	
119	歌川 広重	名所江戸百景 浅草田圃西の町詣	1857	35.0×23.5	錦絵大判	
120	二代歌川 広重	江戸自慢三十六興 今戸焼物	不詳	33.1×23.3	錦絵大判	
121	二代歌川 国貞	無題（修紫田舎源氏）	1852頃	33.5×68.8	錦絵大判三枚続き	
122	松葉楼 関斎	列婦於竹の伝	不詳	35.3×24.2	錦絵大判	
123	歌川 芳員	かひ子心恵草	1848-70頃	35.5×24.0	錦絵大判	
124	作者不詳	嘉永七甲寅年八月六日猿白院成清 日田信士 行年三十二才（八代 目市川團十郎 涅槃の図）	1854	24.6×36.0	錦絵大判	
125	作者不詳	当世三筋のたのしみ	1868	35.0×48.5	錦絵大判二枚続き	
126	作者不詳	稽古場の賑い	1868	34.7×48.7	錦絵大判二枚続き	
127	河鍋 暁斎	「狂斎百図」より戯画 一卷と三巻（猫4図）	1881	18.0×12.0	小判4図	
128	三代歌川 豊国	古猫の怪	1861	34.8×71.5	錦絵大判三枚続き	
129	三代歌川 豊国	辰世実ハ猫石怪	不詳	35.3×74.0	錦絵大判三枚続き	
130	三代歌川 豊国	無題（東駅いろは日記）	1861	33.3×72.0	錦絵大判三枚続き	
131	三代歌川 豊国	後室嵯峨ノ方	不詳	72.0×24.5	錦絵大判縦二枚続き	
132	三代歌川 豊国	大当たり 猫のざんげ	不詳	35.5×24.0	錦絵大判	
133	歌川 国芳	本朝水滸伝剛勇八百人一個 犬村大学禮儀 幼名 角太郎	1833-35頃	36.5×24.5	錦絵大判	
134	歌川 国芳	無題（化物尽くし）	不詳	34.2×73.3	錦絵大判三枚続き	
135	歌川 国芳	東海道五十三対 岡部	1845頃	37.0×24.5	錦絵大判	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
136	月岡 芳年	美勇水滸伝 魔陀羅丸	1867	25.0×18.0	錦絵中判	
137	月岡 芳年	豪傑奇術競	1869	35.4×72.4	錦絵大判三枚続き	
138	楊洲 周延	中村時蔵 沢村百之助 市川権十郎	1880	34.0×69.0	錦絵大判三枚続き	
139	尾形 月耕	月耕随筆	1884	35.5×23.5	錦絵大判	
140	四代歌川 国政	猫又怪(中村福助 尾上梅幸 尾上菊五郎)	1887	35.5×71.0	錦絵大判三枚続き	
141	二代長谷川 貞信	無題 (役者絵)	1868以降	35.5×70.5	錦絵大判三枚続き	
142	歌川 国芳	猫の百めんそう	1841頃	24.5×32.5	団扇絵	
143	歌川 広重	無題(猫の鯉節渡り 釣り狐)	1842頃	35.0×24.0	錦絵大判(二丁掛)	
144	歌川 国芳	心学稚絵得 猫と鼠	1843頃	36.0×12.1	錦絵中判短冊	
145	歌川 国芳	流行猫の戯 袂糞氣罵責段	1847頃	39.8×24.4	錦絵大判	
146	歌川 芳年	猫鼠合戦	1859	35.0×24.0	錦絵大判(二丁掛)	
147	歌川 芳幾	当世見立忠臣蔵	1860	35.6×24.2	錦絵大判	
148	歌川 芳幾	与ハなさけ浮名の横ぐし	1860	35.5×24.5	錦絵大判	
149	四代歌川 国政	芸競猫の戯	1872-75頃	32.5×71.8	錦絵大判三枚続き	
150	河鍋 暁斎	市豆蒔	1873	35.4×47.4	錦絵大判二枚続き	
151	豊原 国周	珎猫見立善悪競	1884	35.4×70.2	錦絵大判三枚続き	
152	歌川 国芳	国芳もやう 正札附現金男野晒悟助	1845頃	35.0×23.7	錦絵大判	
153	歌川 国芳	源氏雲浮世画合 夕霧	1846	35.0×23.0	錦絵大判	
154	歌川 国芳	狂画絵手本	江戸時代後期	36.4×24.5	錦絵大判	
155	歌川 広重	無題(鼠の枡おとし ひやかし)	江戸時代後期	36.0×24.2	錦絵大判(二丁掛)	
156	歌川 広重	即興かげぼしづくし	1840-42頃	35.0×24.5	錦絵大判(二丁掛)	
157	歌川 芳藤	小猫あつまって大猫となる	1847-48頃	34.0×24.0	錦絵大判	
158	月岡 芳年	神功皇后釣猫	明治時代	24.5×25.0	団扇絵	
159	作者不詳	無題(養蚕家の鼠除け)	江戸時代後期~明治時代	32.0×22.5	錦絵大判	
160	歌川 芳幾	三十二相面白四五六	1860	60.0×71.0	大大判	
161	作者不詳	新版当時流行ポンチ双六	1887	49.0×71.0	大大判	
162	歌川 国利	ねこのたわむれ寿語六	1888	22.0×34.0	錦絵大判	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
163	作者不詳	新板猫の明がらす	1868-87	36.5×24.3	錦絵大判	
164	作者不詳	新板猫乃狂言つくし	1877頃	36.5×24.6	錦絵大判	
165	作者不詳	志ん板猫の(小間物屋)	1868-87頃	37.0×24.5	錦絵大判	
166	歌川 芳藤	志ん板猫のたわむれ踊のを さらい	1868-87頃	37.0×24.7	錦絵大判	
167	歌川 芳藤	志ん板猫のたわむれ 西洋床	1868-87	37.0×24.4	錦絵大判	
168	歌川 芳藤	志ん板大長家猫のぬけうら	1873-86	36.5×24.5	錦絵大判	
169	歌川 芳藤	志ん板猫の吉はら	1868-87頃	35.5×22.8	錦絵大判	
170	歌川 芳藤	新板猫の(芝居小屋)	1868-1904	35.4×22.5	錦絵大判	
171	四代歌川 国政	新板ねずみのたわむれ	1882	33.6×22.4	錦絵大判	
172	作者不詳	志ん板猫の弥次喜太	1868-87頃	36.5×24.5	錦絵大判	
173	作者不詳	新板猫と鼠の戯	1868-87頃	36.0×23.3	錦絵大判	
174	歌川 国利	志んばんねこ尽	1890	35.5×23.2	錦絵大判	
175	作者不詳	新板猫の戯地獄遊	1901	36.5×24.3	錦絵大判	
176	作者不詳	ねこづくし遊戯	1913	35.4×24.0	錦絵大判	
177	二代歌川 国貞	音墨画仇一婦人	1869	36.0×24.6	錦絵大判	
178	二代歌川 国貞	女粧三十六貴賤 東京本町 花よめ縫針	1869	35.4×23.8	錦絵大判	
179	歌川 芳幾	東京日々新聞 八百十三號	1874	35.5×23.6	錦絵大判	
180	月岡 芳年	新柳二十四時 午後二時	1880	34.0×23.0	錦絵大判	
181	月岡 芳年	風俗三十二相 うるささう 寛政年間処女之風俗	1888	35.0×23.0	錦絵大判	
182	豊原 国周	東けい三十六会席 柳ばしそめ	1870	35.1×23.6	錦絵大判	
183	豊原 国周	艶姿三十六嫁撰	1866頃	34.4×24.4	錦絵大判	
184	豊原 国周	当世開花 別品競	1887	36.0×24.0	錦絵大判	
185	楊洲 周延	名誉色咲分	1883	33.5×21.4	錦絵大判	
186	楊洲 周延	見立石橋山子供遊之図	1888	34.6×69.3	錦絵大判三枚続き	
187	楊洲 周延	東風俗福つくし 匍匐	1889	33.4×22.8	錦絵大判	
188	楊洲 周延	東風俗福つくし 双幅	1889	33.1×22.5	錦絵大判	
189	楊洲 周延	東風俗福つくし 有ふく	1890	33.5×23.3	錦絵大判	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
190	楊洲 周延	二十四孝見立画合 第十二号 楊香	1890	33.5×22.4	錦絵大判	
191	楊洲 周延	見立十二支 寅 神楽坂毘沙門	1893	35.6×24.5	錦絵大判	
192	楊洲 周延	見立十二支 申 南伝馬町花車	1893	36.0×24.5	錦絵大判	
193	楊洲 周延	あづま 裁縫	1896	34.0×22.0	錦絵大判	
194	楊洲 周延	あづま 愛猫	1896	33.0×21.0	錦絵大判	
195	楊洲 周延	真美人	1897	32.5×21.0	錦絵大判	
196	小林 清親	酒機嫌十二相之内 気の小さく成る酒癖	1888	34.9×23.1	錦絵大判	
197	小林 清親	酒機嫌十二相之内 気の長くなる酒癖	1888	36.4×24.0	錦絵大判	
198	水野 年方	三十六佳撰 湯河の里 寛政頃婦人	1892頃	32.6×22.0	錦絵大判	
199	尾形 月耕	美人花競 蘭	1896	32.0×21.4	錦絵大判	
200	柴田是真 三代 広重 松川半山	張交絵 南泉斬猫大悟得ほか	1878	33.6×22.9	錦絵大判	
201	山本 昇雲	今すがた 小蝶	1909	27.5×19.4	錦絵間判	
202	柴田 是真	「窓辺の猫」	明治時代	23.0×24.0	木版画	
203	筒井 年峰	三宅青軒著 「京の猫」の口絵 文芸倶楽部第1巻13編	1895	21.0×27.0	木版画	
204	三島 蕉窓	樋口一葉著 「われから」の口絵 文芸倶楽部第2巻6編	1896	21.1×27.0	木版画	
205	水野 年方	「簾影美人」の口絵 文芸倶楽部第3巻3編	1897	21.5×28.6	木版画	
206	富岡 永洗	村井弦斎著 「小猫」の口絵 春陽堂	1897	32.0×22.6	木版画	
207	武内 桂舟	「初紅葉」の口絵 文芸倶楽部第17巻14号	1911	30.5×22.4	木版画	
208	高橋 弘明	ジャパニーズ・ポブテイル	1924	23.5×33.0	木版画	
209	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	展覧会チラシ「陶醉のパリ・モンマルトル」八王子市夢美術館	2012	21.0×14.8	印刷	
210	小原 祥邨	猫と金魚鉢	1931	36.0×24.0	木版画	
211	秋山 巖	かまどねこ	1982	56.0×40.5	木版画	
212	薬師窯 (瀬戸市)	幸せこいこい猫蚊遣器	不詳	16.0幅×16.5×11.0高		
213	藤田 嗣治	猫十態 の内の一図	1929	27.5×22.0	版画・エッチング	
214	加山 又造	猫	2002	35.5×43.0	木版画	

3. 1. 3. 明和電機ナンセンスマシーン展 in 大分

概要 明和電機は、土佐信道が率いる芸術ユニットで、2018年に活動25周年を迎えました。日本の中小企業をイメージした制服姿で表舞台に立ち、世の中の常識を超える機械を作品として作り続け、その表現は作品制作にとどまらず、音楽活動、舞台パフォーマンス、タレント活動、さらに多様な商業製品の製作など多岐にわたっています。また、欧米、中国を中心に展覧会やイベントを開催し、世界的に注目を浴びています。

本展は、明和電機の活動を代表する電動楽器のシリーズ等の約250点の作品展示とともに、作家本人による作品解説、ワークショップ、作品演奏を催しました。

会期 平成30年7月7日(土)～9月24日(月) 公開日数77日

主催 大分市美術館、大分合同新聞社、明和電機展実行委員会

協賛 株式会社 大分銀行、鬼塚電気工事株式会社

後援 OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、エフエム大分、J:COM 大分ケーブルテレコム、NOAS FM、ゆふいんラヂオ局

協力 大分県立芸術緑丘高等学校、大分市工業連合会青年部会、国立大分工業高等専門学校、日本文理大学、Fab Lab Oita

出品点数 約250点

観覧者数 33,320人

観覧料 一般1,200(1,000)円/高大生900(700)円、中学生以下無料
※()内は前売り、20人以上の団体料金

関連行事 ■明和電機社長イベント

①明和電機・ライブパフォーマンス

日時 平成30年7月7日、9月22日、9月23日
午後6時30分～8時

場 所 企画展示室 2

実施回数 3回

参加数 300人

※9月23日の明和電機・ライブパフォーマンスでは、大分県立芸術緑丘高等学校音楽科3年生1名が共演。

②ギャラリートーク

日 時 7月7日、8日、8月4日、5日、
9月22日、23日、24日

午前10時30分～11時

場 所 企画展示室 2

実施回数 7回

参加者 計1,181人

※9月22日は、「ぼく・わたしの「チワワ笛」を演奏しよう！～明和電機土佐信道社長と一緒に～」のイベントを併せて実施し、22人が出演。

③発想法ワークショップ

日 時 7月8日 午後1時30分～3時

場 所 研修室

参加者 48人

④バウガンワークショップ

日 時 7月7日、8月4日、5日、9月23日、24日
午後1時30分～3時

場 所 研修室

実施回数 5回

参加者 計104人

⑤ペロミンワークショップ

日 時 9月22日 午後1時30分～3時30分

場 所 研修室

参加者 25人

⑥製品説明会

日 時 7月7日、8日、8月4日、5日、
9月22日、23日、24日

午後4時30分～5時

場 所 企画展示室2

実施回数 7回

参加者 計1,409人

⑦明和電機サイン会

日 時 7月7日、8日、8月4日、5日、

9月22日、23日、24日

午前11時30分～正午、

午後3時～3時30分（8月5日のみ午後3時30分～4時）、

午後5時～5時30分

場 所 ミュージアムショップ横

実施回数 計21回

⑧七夕まつりへの出演

日 時 8月4日 午後8時～8時30分

場 所 ガレリア竹町ドーム広場

参加者 約300人

■協力団体イベント

①明和電機ナンセンス発想法による芸術緑丘高等学校生徒作品展

場 所 研修室

会 期 7月10日～9月21日

開場時間 午前10時～午後6時

出品者・展示数 同校美術科1～3年生105人・105点

②大分高専ロボット研究部によるロボコン全国大会出場ロボット展示

展示期間 8月26日～9月18日 午前10時～午後6時

場 所 2Fホワイエ

展示ロボット ライオン君、マリンビート

<ライオン君実演>

日 時 8月26日、9月2日、9日、16日

午後0時30分～0時50分、午後2時～2時20分

実施回数 8回

参加者 計757人

③日本文理大学 研究成果展示—マイクロ・エコ風車—
展示期間 7月29日～9月9日 午前10時～午後6時
展示場所 2F ホワイエ

④日本文理大学 研究成果展示—電子蛸—
展示期間 8月5日～9月24日 午前10時～午後6時
場 所 美術館1階ハイビジョンブース

⑤手作り 3D プリンタ説明実演
日 時 8月25日、26日 各午前10時～午後6時
場 所 ハイビジョンブース周辺
実 演 日本文理大学稲川研究室
参加者 約280人

⑥日本文理大学学生有志による作品展示
展示期間 9月19日～24日 午前10時～午後6時
場 所 美術館1階ハイビジョンブース
展示物 日本文理大学 美術部・天文部共同制作（村田岳彦、上田亮、
佐藤洋輔）「心はいつも0m」

⑦LED 流れ星をつくって遊ぼう！
日 時 8月11日 午後3時～5時
場 所 研修室
講 師 ファブラボ大分 豊住大輔氏
参加者 8人

⑧明和電機チワワ笛ワークショップ
日 時 8月18日 午後1時30分～3時
場 所 研修室
講 師 大分市工業連合会青年部会会員
参加者 14人

■明和電機自動演奏

日 時 会期中 午前11時～11時20分、午後1時30分～1時50分、
午後3時～3時20分

※7月7日、8日、8月4日、5日、9月22～24日を除く

実施回数 208 回
参加者 計 11,939 人

印刷物 ポスターB2判・チラシA4判

関連記事

“四重奏”（「明和電機」県立芸術緑丘高校訪問）『大分合同新聞』6月8日
土佐信道「明和電機大分展に向けて 土佐信道社長からのメッセージ《上》『顔』
を持つオタマトーン」『大分合同新聞』夕刊6月19日
「飾るだけじゃつまらない 土佐社長インタビュー 機械アート200点展示・美術館で実験的ライブ」『大分合同新聞』夕刊6月12日
土佐信道「明和電機大分展に向けて 土佐信道社長からのメッセージ《中》 鋼
の牙プードルズヘッド攻撃性の暴走を実感」『大分合同新聞』夕刊6月26日
「独創的発想と綿密なモノ作り」『大分合同新聞』6月30日
土佐信道「明和電機大分展に向けて 土佐信道社長からのメッセージ《下》
ポジティブさ大切に」『大分合同新聞』夕刊7月3日
「独創的な作品世界創出 明和電機ナンセンスマシーン展」
『大分合同新聞』夕刊7月7日
二宮圭一「明和電機のススメ 創造的なくだらなさ」
『大分合同新聞』夕刊7月21日
「ユニークな“製品”めじろ押し」『西日本新聞』7月14日
「観覧1万人突破」『大分合同新聞』夕刊8月4日
「ユーモラスな250点」『毎日新聞』8月17日
「観覧者2万人突破」『大分合同新聞』夕刊8月21日
「明和電機ナンセンスマシーン展 in 大分」『読売新聞』9月13日
「奇想天外ナンセンスマシーン」『佐賀新聞』9月14日
「観覧者3万人を突破 明和電機ナンセンスマシーン展」
『大分合同新聞』9月17日

（担当 岩尾、山之上）

3. 1. 4. 上野の森アートサファリ 岩合光昭写真展 ネコライオン&ねこ科

概要 岩合光昭は、1950（昭和25）年東京都生まれ。19歳のときに訪れたガラパゴス諸島の自然の驚異に圧倒され、動物写真家としての道を歩み始めた。以来、地球上のあらゆる地域をフィールドに動物たちを撮影している。その美しく、想像力をかきたてる作品は世界的に高く評価されており、1979年、『海からの手紙』で木村伊兵衛写真賞受賞。また、タンザニアのセレンゲティ国立公園におよそ2年間滞在して撮影した写真集『おきて』は、世界中でベストセラーとなった。一方で身近な存在であるネコの撮影も40年以上のライフワークとして撮り続けており、ネコと人の関係性が垣間見えるその独特の作風は、多くの人の共感と呼び人気を博している。

岩合の取材対象の中でも、とりわけ多くの時間を割いて撮影を続けているのがネコとライオンであり、岩合は「ネコは小さなライオンだ。ライオンは大きなネコだ。」と語っている。

私たち人間の生活に溶け込むように暮らすネコ。一方で百獣の王と呼ばれ、人間と無縁のように野生の世界に生きるライオン。彼らは同じネコ科でありながら、大きさも、生活も異なるが、やはりどこか似ているものである。

今回、岩合光昭が捉えた人間と共生するネコや野生に生きるライオンなどネコ科の動物たちを紹介する写真展「ネコライオン」と「ねこ科」を、美術館企画展示室および美術館周辺の森で開催した。

会期 平成30年10月5日（金）～11月25日（日） 公開日数 46日間

主催 大分市美術館

後援 大分合同新聞社、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、エフエム大分、J:COM 大分ケーブルテレコム

出品点数 「ネコライオン」…写真181点、「ねこ科」…写真33点

観覧者数 企画展示室「ネコライオン」：9,802人
美術館周辺の森「ねこ科」：2,940人

観覧料 一般800（600）円／高大生600（400）円、中学生以下無料
※（ ）内は20人以上の団体料金

関連行事 ■岩合光昭トーク（無料）

日時 10月21日 （1）午前11時～11時30分 （2）午後2時～2時30分

場所 美術館ハイビジョンホール

講師 岩合光昭氏（写真家）

参加者 （1）78人、（2）77人

■岩合光昭サイン会

日時 10月21日 （3）午前11時30分～正午 （4）午後2時30分～3時

場所 美術館ハイビジョンホール

販売冊数 186冊

印刷物 ポスターB2判、チラシA4判

関連記事 「大分市美術館 岩合光昭さんの写真展」『大分合同新聞』夕刊10月16日
(担当 岡村)

3. 1. 5. 第67回 高文連 美術・書道・写真 中央展

概要 大分県高等学校文化連盟と共催して開催した展覧会。書道展には36校 美術・写真展には35校・11校、が参加し、日々の創作活動に取り組む高校生たちの若々しくエネルギッシュな作品を紹介した。

【書道展】

会 期 平成30年12月6日（木）～9日（日） 公開日数4日間

主 催 大分県高等学校文化連盟、大分市美術館

後 援 大分県教育委員会、大分県芸術文化振興会議、大分県美術協会、大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、J:COM大分ケーブルテレコム、シティ情報おおいた

出品点数 36校 231点

観覧者数 804人

観覧料 無料

【美術・写真展】

会 期 平成30年12月13日（木）～16日（日） 公開日数4日間

主 催 大分県高等学校文化連盟、大分市美術館

後 援 大分県教育委員会、大分県芸術文化振興会議、大分県美術協会、大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、J:COM大分ケーブルテレコム、シティ情報おおいた

出品点数 美術35校 198点、写真11校 117点

観覧者数 1,152人

観覧料 無料

関連記事 「県高文連中央展書道部門始まる」『大分合同新聞』12月6日
「高校生 力強い筆遣い 大分市美術館 書道展9日まで」『読売新聞』12月7日
「若い感性 巧みに表現 美術写真部門始まる」『大分合同新聞』12月13日

（担当 椎原）

3. 1. 6. 芸術緑丘高等学校 70 周年記念美術制作展

概要 大分県立芸術緑丘高等学校は、全国でも数少ない公立の美術・音楽専門校で、1948（昭和 23）年、大分県立別府第二高等学校（旧校名）として別府市で開校し、1980（昭和 55）年、大分市上野丘に移転しました。

今回の美術制作展は、開校翌年から毎年開催している展覧会で、70 回目となった。美術科に在籍する生徒たちが、情熱を持って日々制作に取り組んだ、油絵、日本画、彫刻、デザイン（ビジュアルデザイン／クラフトデザイン）、素描（木炭／鉛筆）等を展示して、一年間の授業の成果を紹介しました。

会 期 12 月 18 日（火）～23 日（日） 公開日数 6 日間

主 催 大分県立芸術緑丘高等学校、大分市美術館

後 援 大分県民芸術文化祭実行委員会、大分県芸術文化振興会議、大分合同新聞社、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、エフエム大分、J:COM 大分ケーブルテレコム、大分県立芸術緑丘高等学校美術後援会

出品点数 生徒 186 点、教諭等 16 点

観覧者数 1,613 人

観覧料 無料

関連行事 ■Green×Green コンサート at 制作展

日 時 12 月 22 日

講師演奏 午前 11 時～正午

生徒演奏 午後 3 時～4 時

場 所 大分市美術館常設展示室 1

内 容 講師演奏：7 組、参加者：121 人

生徒演奏：10 組、参加者：175 人

■テッペイ ウジヤマン になろう！

日 時 12 月 23 日 午前 10 時～午後 3 時

場 所 大分市美術館研修室、ハイビジョンホール

講 師 大分県立芸術緑丘高等学校美術科教諭 藤原雅哉氏

参加者 10 人

関連記事 田中修二「『芸術緑丘高校美術制作展』評」『大分合同新聞』夕刊 12 月 18 日
「情熱こもった 186 点芸術緑丘高美術制作展」『大分合同新聞』夕刊 12 月 18 日
(担当 岩尾)

3. 1. 7. 蜷川実花展 —虚構と現実の間に—

概要 本展は、独特な色彩が特徴の写真家・映画監督の蜷川実花（1972～）の、写真やインスタレーション、映像等約 200 点による展覧会。展示は、「虚構と現実」というテーマを切り口に、時代の先端を感じ取り、表現の場を限定することなく活躍し続ける“蜷川実花”の作品世界を展開した。

会期 平成 31 年 1 月 5 日（土）～2 月 24 日（日） 公開日数 46 日間

主催 TOS テレビ大分、大分市美術館、蜷川実花展大分実行委員会
読売新聞社、美術館連絡協議会

協賛 株式会社 日本 HP、ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜

後援 UMK テレビ宮崎、エフエム大分、月刊・シティ情報おおいた

協力 富士フィルムイメージングシステムズ、東京リスマチック、フレームマン、東京スタデオ

企画協力 ラッキースター、小山登美夫ギャラリー

企画プロデュース 後藤繁雄事務所+G/P gallery

出品点数 203 点
「桜」 16 点
「永遠の花」59 点
「Portraits of the Time」39 点
「Theater」1 点
「Self-image」8 点
「INTO FICTION/REALITY」62 点
「PLANT A TREE」18 点

観覧者数 26,466 人

観覧料 一般 1200 円(1000 円) 高校生・大学生 900 円(700 円)
※（ ）内は前売り、及び 20 人以上の団体料金

関連行事 ■蜷川実花氏 展覧会記念トークイベント（無料）
日時 1 月 5 日 午前 11 時～午後 0 時 30 分
場所 研修室
講師 蜷川実花氏、清水穰氏（同志社大学教授）
参加者 108 人

■美術館職員による展示解説（要観覧料）
日時 会期中毎週水曜日 午後 2 時～
場所 企画展示室

参加者 132 人

関連記事 「きょうから「蜷川実花展」人間の欲望にフォーカス」『大分合同新聞』
1 月 5 日 朝刊

「蜷川実花展 —虚構と現実の間に—上」『読売新聞大分県版』1 月 23 日

「蜷川実花展 —虚構と現実の間に—中」『読売新聞大分県版』1 月 24 日

「蜷川実花展 —虚構と現実の間に—下」『読売新聞大分県版』1 月 25 日

(担当 山之上)

3. 1. 8. 第53回大分市美術展[公募展]

概要 洋画・版画／日本画／書／写真／彫刻／工芸／デザインにわたる7部門の応募作品を、企画展示室、ホワイエ、常設展示室等で展示し、広く市民に紹介した。

会期 平成31年3月8日（金）～3月31日（日） 公開日数21日

主催 大分市、大分市教育委員会、大分市美術展運営委員会

後援 大分県美術協会、大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、大分ケーブルテレコム、大分東ロータリークラブ、大分臨海ロータリークラブ、大分南ロータリークラブ、大分中央ロータリークラブ、大分城西ロータリークラブ、大分キャピタルロータリークラブ、2720 Japan O.K. ロータリーEクラブ

出品点数 655点

観覧者数 5,461人

観覧料 無料

関連行事 ■作品解説

日時 3月10日

午後1時～2時（書、写真、デザイン部門）

午後2時～3時（洋画・版画、日本画、彫刻、工芸部門）

場所 各部門展示会場

講師 大分市美術展運営委員

参加者 100人

■オーディエンスいいね！賞

投票期間 3月8日～3月21日

投票総数 889通

関連記事 「多彩・圧巻の420点 大分市美術展始まる」『大分合同新聞』夕刊3月3日
「(ひと) 師の教え大切に「楽しく」『大分合同新聞』3月13日
「(ひと) 長く心に残るような絵を」『大分合同新聞』3月25日
「市美展」『西日本新聞』3月17日
「広がる愛好者のすそ野」『大分合同新聞』3月16日

(担当 若林)

3. 2. 常設展

3. 2. 1. 第1期常設展

平成30年4月10日～7月8日

(常設展示室2 前期：5月27日まで 後期：5月29日から)

■常設展示室1 近・現代の日本画 高山辰雄記念室

テーマ 動物・生命を描く

No.	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備考
1	高山辰雄	猫と玉葱	1957	55.6 × 77.1	紙本着色	
2	溪斎英泉	江戸八景 忍岡の暮雪	1843～ 1847	26.0 × 38.0	木版画・紙	
3	落合芳幾	写真鏡 山獵図	1861	33.0 × 23.5	木版画・紙	
4	豊原国周	紅葉狩	1898	各35.0 × 24.0	木版画・紙	
5	橋口五葉	鴨	1920	26.6 × 40.8	木版画・紙	
6	福田平八郎	紫陽花孔雀図	1921	147.5 × 145.6	紙本着色	
7	福田平八郎	藪椿に鶯	1936	27.0 × 69.0	紙本着色	
8	福田平八郎	鯉	1943	48.0 × 72.0	絹本着色	
9	福田平八郎	鮎	1950	42.0 × 56.0	絹本着色	
10	福田平八郎	鮎	1958	48.5 × 75.5	紙本着色	
11	福田平八郎	白梅眼白	1940	45.0 × 65.0	紙本着色	
12	福田平八郎	紅梅	1941	54.5 × 39.2	紙本着色	
13	福田平八郎	黄鶺鴒	1957	29.5 × 42.3	紙本着色	
14	福田平八郎	紋鶺鴒	1960～64	30.0 × 22.7	紙本着色	
15	福田平八郎	猫	1916～21	115.8 × 55.7	絹本着色	個人蔵
16	幸松春浦	春	1961	47.0 × 52.8	紙本着色	
17	朝倉撰	猫	不詳	35.7 × 24.7	紙・リトグラフ	
18	高山辰雄	緑の野に	1952	59.5 × 71.3	絹本着色	
19	高山辰雄	鶺鴒	1955	67.0 × 92.5	紙本着色	
20	市野龍起	翔ぶ日	1995	225.0 × 160.0	紙本着色	
21	箱崎睦昌	潮声	1991	180.0 × 540.0	紙本着色	
22	岩澤重夫	ひととき	不詳	33.6 × 53.2	紙本着色	
23	石踊達哉	林檎花	1994	130.3 × 162.1	紙本着色	
24	松村公嗣	ほたる	1993	166.0 × 332.0	紙本着色	
25	郷倉和子	夕焼けとうさぎ	1980	185.0 × 216.0	紙本着色	
26	高山辰雄	春の浅い日(紹興)	1992	37.0 × 55.0	紙・リトグラフ	
27	紙谷義久	雨季 7月	1986	145.5 × 145.5	紙本着色	紙谷義久氏寄贈

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
28	鈴木忠実	飛翔	1993	162.1 × 262.0	紙本着色	
29	首藤詔子	秋日	1983	162.0 × 130.3	紙本着色	
30	首藤詔子	絵巻に偲ぶ	1985	162.1 × 130.3	紙本着色	首藤詔子氏寄贈
31	高山辰雄	白鷺	1939	各167.7 × 371.4	紙本着色	
32	竹内浩一	唯	1993	各160.0 × 420.0	紙本着色	
33	釘宮對宕	化身	1978	190.0 × 194.0	紙本着色	
34	釘宮對宕	作品 C-5	1982	92.5 × 74.0	紙本墨画	
35	釘宮對宕	千鳥	1984	93.0 × 74.0	紙本墨画	
36	釘宮對宕	雪原の王者	1985	247.0 × 117.0	紙本墨画	
37	詫間夢鳳	竹柏勁心	2007	各260.0 × 93.0	紙本墨画	詫間夢鳳氏寄贈
38	詫間夢鳳	竹柏勁心	2007	69.6 × 77.6	紙本墨画	詫間夢鳳氏寄贈
39	詫間夢鳳	闘魂	2009	94.0 × 115.5	紙本墨画	
40	詫間夢鳳	竹雀	2017	91.0 × 61.4	紙本墨画淡彩	詫間夢鳳氏寄贈
41	池田栄広	船出前	1986	176.0 × 221.0	紙本着色	
42	林功	江南光風	1991	各166.8 × 184.0	絹本着色	

■常設展示室2 近世の絵画・南画（文人画） 富春館記念室

テーマ（前期） 絵画の中の子どもたち

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	伝 円山応挙	童子琴棋書画図	江戸時代中期	各112.2 × 50.9	絹本着色	帆足市太氏寄贈
2	淵上旭江	郭子儀図	江戸時代後期	102.6 × 33.0	絹本墨画淡彩	
3	佐久間竹浦	寿老図	1901	105.7 × 38.8	紙本墨画淡彩	
4	田近竹邨	題石図・ 樹下一夢図屏風	1897	各173.5 × 185.6	紙本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
5	狩野常信	高士囲碁喫茶図屏風	江戸時代前期	各171.5 × 379.4	紙本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
6	早田聖山	粽楠公父子図	1923	各105.2 × 41.5	絹本着色	帆足市太氏寄贈
7	作者不詳	洛中洛外図屏風	1640	各108.5 × 273.0	紙本金地着色	
8	草刈樵谷	竹田荘雅会図	1948	22.6 × 117.6	紙本墨画淡彩	

テーマ（後期）明治150年-志士たちの芸術

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	長三洲	波旭日図	1863	156.5 × 65.8	絹本墨画着色	帆足市太氏寄贈

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
2	後藤碩田	細流清音図	1878	100.5 × 36.5	絹本墨画	
3	後藤碩田	晚江帰棹図	不詳	130.0 × 30.0	紙本墨画	
4	後藤碩田	高城山大悲閣図	1848	109.5 × 27.3	紙本墨画	寄託品
5	平野五岳	春山書屋図	1863	174.7 × 60.8	紙本墨画	
6	平野五岳	松林山水図	1868	149.0 × 66.0	紙本墨画	
7	平野五岳	青山白雲図	1870	172.8 × 66.4	紙本墨画淡彩	
8	平野五岳	書画冊	1876	各22.6 × 22.8	紙本墨画、墨書	
9	平野五岳	月下孤蓬図	1876	142.8 × 41.9	絹本墨画淡彩	
10	平野五岳	熊本城下作詩	1888	167.9 × 64.1	紙本墨書	
11	平野五岳	田原坂詠詩	1877	168.7 × 44.7	紙本墨書	
12	平野五岳	楠公廟下作詩	1878	135.0 × 62.0	紙本墨書	
13	原在中	楠木正成像	江戸時代後期	111.8 × 49.0	絹本着色	帆足市太氏寄贈
14	森徹山	児島高德図	幕末～明治時代	134.4 × 55.0	紙本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
15	浦上春琴	花鳥図	1829	130.9 × 37.2	絹本着色	帆足市太氏寄贈
16	頼山陽	三行書	1829	130.9 × 37.2	絹本墨書	帆足市太氏寄贈
17	中林竹洞	烟江疊嶂図	1829	130.9 × 37.2	絹本墨画	帆足市太氏寄贈
18	角田九華	梅花七言絶句	1837	115.0 × 25.3	紙本墨書	
19	毛利空桑	七言絶句	19世紀後半	133.0 × 29.0	紙本墨書	

■常設展示室3 近代・現代の洋画

テーマ 抽象を描く

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
1	佐藤敬	Fleur de Pierre	1960	59.4 × 29.3	油彩・キャンバス	
2	佐藤敬	罨	1961	92.0 × 73.0	油彩・キャンバス	
3	佐藤敬	凝結波	1966	195.0 × 130.0	油彩・キャンバス	
4	佐藤敬	空間の通力	1973	116.0 × 179.0	油彩・キャンバス	
5	宇治山哲平	爽	1982	129.6 × 129.8	油彩・キャンバス	
6	宇治山哲平	No.35	1962	116.0 × 73.0	油彩・キャンバス	
7	宇治山哲平	No. 309 朝陽	1973	89.5 × 59.5	油彩・キャンバス	
8	渡辺恭英	R. L カーソンに捧ぐ 13-D	2013	116.7 × 116.7	ミクストメディア・パネル	渡辺恭英氏寄贈
9	松野良治	衍	2006	176.0 × 176.0	アクリル、パステル、鉛筆、色鉛筆・板	松野良治氏寄贈

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
10	日金子金一郎	けしき09-8	2009	112.0 × 162.0	油彩・キャンバス	日金子金一郎氏寄贈
11	後藤龍二	そこにある0406	2004	129.0 × 161.0	油彩・キャンバス	後藤龍二氏寄贈
12	岩澤有徑	MOVING2	1991	175.0 × 111.0	油彩、アクリル・キャンバス	岩澤有徑氏寄贈
13	岩澤有徑	MOVING19	1996	146.0 × 110.0	油彩、アクリル・キャンバス	
14	板井文雄	水中からの光の反射	2011	73.0 × 103.0	鉛筆・紙	板井文雄氏寄贈
15	谷口晶之	萌(円錐賛歌)	1995	162.0 × 194.0	黒鉛、ラッカー・キャンバス	谷口晶之氏寄贈
16	白髪一雄	地勇星病慰遅	1961	130.0 × 195.0	油彩・キャンバス	
17	小野木学	「風景」A	1970	129.0 × 161.0	油彩・キャンバス	寄託品
18	鄭美玉	accumulation1406 /accumulation1407	2014	各91.0 × 73.0	アクリル・キャンバス	鄭美玉氏寄贈
19	草間彌生	Nets	1960	151.1 × 106.0	油彩・キャンバス	
20	草間彌生	ACCRETION (No.3)	1964	110.0 × 70.0	コラージュ	
21	草間彌生	生命への畏敬	1989	194.0 × 390.0	アクリル・キャンバス	
22	草間彌生	幻影の彼方/インフィニティネット	1999	160.5 × 227.0	アクリル・キャンバス	寄託品

■常設展示室4 竹工芸

テーマ 竹による室内装飾-丸の内ホテルバンブーグリル-

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
1	生野祥雲斎	川	1962	高42.0 径35.0	竹・籐	
2	生野祥雲斎	乱菊	1964	133.5×285.0×50.0	竹・籐	
3	生野祥雲斎	怒涛	1960	53.0×73.0×53.0	竹・籐	
4	生野祥雲斎	久寿玉Ⅰ	1964	高43.0 径63.0	竹・籐	
5	生野祥雲斎	久寿玉Ⅱ	1964	高43.0 径63.0	竹・籐	
6	生野祥雲斎	久寿玉Ⅲ	1964	高4.03 径63.0	竹・籐	

3. 2. 2. 第3期常設展

平成30年9月28日～平成31年1月4日

(常設展示室1、2 前期：11月11日まで 後期：11月13日から)

■常設展示室1及び2

(前期)開館20周年記念 田能村竹田展

※空欄は大分市
美術館蔵

No.	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備考
1	淵野香齋	田能村竹田像	1826頃	24.1 × 18.4	絹本墨画淡彩	
2	田能村竹田	河豚図	1796	54.0 × 27.4	紙本墨画淡彩	竹田市立歴史資料館蔵
3	田能村竹田	茂林雨後図	1800	26.6 × 28.8	紙本墨画淡彩	竹田市立歴史資料館蔵
4	田能村竹田	漁父図	1803	48.9 × 28.2	紙本墨画淡彩	個人蔵
5	田能村竹田	花卉図	1808	各115.7 × 39.3	紙本墨画淡彩	
6	田能村竹田	梅花芙蓉図	1808	46.7 × 41.1	絹本墨画着色	大分県立美術館蔵
7	田能村竹田	沈石田法山水図	1808	133.0 × 57.0	紙本墨画淡彩	個人蔵
8	田能村竹田	雲樹矮亭図	1808頃	121.6 × 51.0	紙本墨画	大分県立美術館蔵
9	田能村竹田	老樹帰漁図	1808	124.6 × 54.6	紙本墨画	大分県立美術館蔵
10	田能村竹田	四季花鳥図	1809	各130.3 × 60.6	絹本墨画着色	
11	田能村竹田	栄貴万年図	1811	37.8 × 54.8	絹本墨画着色	大分県立美術館蔵
12	田能村竹田	橘柚図	1808～11	101.0 × 26.3	紙本墨画	
13	田能村竹田	浅絳山水図	1812頃	109.1 × 32.3	紙本墨画淡彩	竹田市立歴史資料館蔵
14	田能村竹田	山水図	1813	100.3 × 40.2	絹本墨画淡彩	竹田市立歴史資料館蔵
15	田能村竹田	雁来紅群雀図	1813	127.0 × 61.5	絹本墨画着色	
16	田能村竹田	蕙蘭図	1814	129.8 × 41.3	紙本墨画	個人蔵
17	田能村竹田	松石清品図	1811～16	22.7 × 91.3	紙本墨画	
18	田能村竹田	琴鶴対話図	1818頃	124.5 × 54.6	絹本墨画淡彩	竹田市立歴史資料館蔵
19	田能村竹田	富士図	1819	127.0 × 42.0	絹本墨画着色	
20	田能村竹田	疎林溪閣図	1821	128.5 × 46.0	紙本墨画淡彩	
21	田能村竹田	白鶴図	1822	各164.3 × 41.5	絹本墨画着色	
22	田能村竹田	高客聴琴図屏風	1822	167.3 × 437.8	紙本墨画淡彩	大分県立美術館蔵
23	田能村竹田	鍾馗図	1822	97.0 × 27.3	紙本墨画淡彩	
24	田能村竹田	月下芦雁図	1823	149.5 × 332.0	紙本墨画淡彩	
25	田能村竹田	伏水望京図	1823	107.3 × 26.5	紙本墨画	
26	田能村竹田	尚友千古図巻	1823、24頃	18.9 × 450.0	紙本墨画淡彩	大分県立美術館蔵
27	田能村竹田	梅花書屋図及び題詩	1824	各112.5 × 30.5	紙本墨画淡彩・墨書	
28	田能村竹田	填詞	文政中期	129.0 × 52.5	紙本墨書	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
29	田能村竹田	胡蝶図	文政中期	20.2 × 26.3	絹本墨画	
30	田能村竹田	硯海真景図	1825	30.9 × 53.0	絹本墨画着色	大分県立美術館蔵
31	田能村竹田	松溪聴泉図	1827	137.0 × 31.5	紙本墨画淡彩	
32	田能村竹田	風雨渡溪図	1827	136.1 × 47.6	紙本墨画淡彩	大分県立美術館蔵
33	田能村竹田	猿猴挂樹図	文政後期	143.0 × 38.9	紙本墨画淡彩	大分県立美術館蔵
34	田能村竹田	溪荘趁約図	1828	115.2 × 42.5	絹本墨画	
35	田能村竹田	柳陰捕魚図	1828	118.5 × 42.5	絹本墨画淡彩	
36	田能村竹田	雲仙図巻	1828	25.4 × 295.4	紙本墨画淡彩	大分県立美術館蔵
37	田能村竹田	秋景山水図	1828	各22.8 × 41.6	紙本墨画淡彩	
38	田能村竹田	松鶴図	文政末～ 天保元	各51.7 × 44.6	絹本墨画着色	
39	田能村竹田	山水図	1829頃	132.9 × 58.3	紙本墨画淡彩	大分県立美術館蔵
40	田能村竹田	尋山聯騎図	1829頃	132.9 × 58.3	紙本墨画淡彩	大分県立美術館蔵
41	田能村竹田	騎馬武者図	文政後期	38.5 × 29.0	紙本墨画淡彩	
42	田能村竹田	冬籠図	文政末～ 天保初期	92.6 × 30.8	紙本淡彩	
43	田能村竹田	遊覧奇勝帖	1829頃	各13 × 37.8	紙本墨画淡彩	竹田市立歴史資料館蔵
44	淵野香斎	伊藤鏡河像	1829	115.0 × 36.0	絹本着色	竹田市立歴史資料館蔵
45	田能村竹田	白衣大士図	1829	123.9 × 31.2	紙本墨画淡彩	大分県立美術館蔵
46	田能村竹田	白衣大士図	1830頃	91.7 × 35.5	紙本墨画淡彩	
47	田能村竹田	梅花宿鳥図	1829	110.9 × 30.0	紙本墨画淡彩	大分県立美術館蔵
48	田能村竹田	稲川舟遊図	1829	133.0 × 46.5	紙本墨画淡彩	大分県立美術館蔵
49	田能村竹田	歳寒三友双鶴図	1831	162.9 × 62.0	絹本墨画着色	個人蔵
50	田能村竹田	五言古詩	1831	98.7 × 51.3	紙本墨書	
51	田能村竹田	暗香疎影図	1831	136.0 × 57.0	紙本墨画淡彩	
52	田能村竹田	層巒群松図	1831	130.0 × 50.9	絹本墨画淡彩	個人蔵
53	田能村竹田	豊北瀕海名勝図	1832	104.5 × 33.3	絹本墨画着色	
54	田能村竹田	竹田帖 (亀齡軒集帖)	1832	27.5 × 18.4	紙本墨画淡彩、 他	大分県立美術館蔵
55	田能村竹田	桃花流水図	1832	114.0 × 31.0	紙本墨画淡彩	
56	田能村竹田	風炉先屏風	1832	各15.5 × 54.0	紙本墨画淡彩	個人蔵
57	田能村竹田	願行寺真景図	1832	15.5 × 58.0	紙本墨画淡彩	個人蔵
58	田能村竹田	曲溪複嶺図及び題詩	1832	各172.0 × 31.5	紙本墨画淡彩	
59	田能村竹田、 末広雲華	対聯	1832	各111.7 × 13.0	紙本墨書	
60	田能村竹田	秋溪間適図	1832	176.4 × 48.0	紙本墨画淡彩	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
61	田能村竹田	西行法師図	1832	89.1 × 20.1	紙本墨画	
62	田能村竹田	君子延年図	1832頃	26.4 × 18.3	紙本淡彩	
63	田能村竹田	瓶梅図	1833	120.8 × 24.5	紙本墨画淡彩	大分県立美術館蔵
64	田能村竹田	盆卉図	1833	29.3 × 30.8	紙本墨画淡彩	
65	田能村竹田	浄土寺図	1834	19.2 × 35.8	紙本墨画淡彩	
66	田能村竹田	晚雲倦鳥図	1832	142.4 × 40.6	絹本墨画淡彩	個人蔵
67	田能村竹田	驢背尋梅図	1833	154.1 × 62.2	絹本墨画着色	個人蔵
68	田能村竹田	澗道石門図	1834	154.0 × 66.6	絹本着色	
69	田能村竹田	秋溪趁約図	1834	136.0 × 60.0	紙本墨画淡彩	
70	田能村竹田	漁樵問答図	1834	128.5 × 50.3	絹本墨画淡彩	
71	田能村竹田	山陰夜雪図	1834頃	124.0 × 47.7	紙本墨画淡彩	大分県立美術館蔵
72	田能村竹田	吹田村養痾図	1835	87.0 × 29.0	紙本墨画	竹田市立歴史資料館蔵
73	田中介眉	田能村竹田像	1835	62.4 × 17.3	紙本墨画淡彩	竹田市立歴史資料館蔵
74		諸士略系 (田能村氏)	1811頃	25.0 × 18.0	紙本墨書	個人蔵
75	唐橋君山、田能村竹田他 編	豊後国志	1803	各26.0 × 19.0	紙本墨書	個人蔵
76	伊藤鏡河	豊後国志御請書仕立方覚	1800~83	25.0 × 17.5	紙本墨書	大分県立先哲史料館蔵
77	唐橋君山 著、田能村竹田 刊	箋釈豊後風土記	1805	25.7 × 18.5	紙・木版	個人蔵
78	伊藤鏡河	伊藤鏡河日記	1806	11.5 × 17.0	紙本墨書	竹田市立歴史資料館蔵
79	伊藤樵溪	伊藤樵溪日記	1832	11.5 × 16.5	紙本墨書	竹田市立歴史資料館蔵
80	田能村竹田 著	填詞図譜	1806	18.8 × 13.0	紙・木版	大分県立美術館蔵
81	伊藤樵溪 写	田能村竹田《屠赤瑣々録》写本	1807~33	23.7 × 16.7	紙本墨書	竹田市立歴史資料館蔵
82	田能村竹田	瓶花論	1809~11	20.8 × 174.7	紙本墨書	大分県立美術館蔵
83	田能村竹田	竹田荘詩話	1810	19.3 × 12.7	紙・木版	耶馬溪風物館蔵
84	佐野柿園 写	田能村竹田《百活矣》写本	1816	24.4 × 18.7	紙本墨書	大分県立美術館蔵
85	田能村竹田 写	茶之湯式	1816	20.5 × 13.2	紙本墨書	個人蔵
86	田能村竹田	書簡 (森本甚右衛門宛)	1822	15.3 × 56.6	紙本墨書	大分県立美術館蔵
87	田能村竹田	日記	1823	23.5 × 16.0	紙本墨書	大分県立美術館蔵
88	田能村竹田	書簡 (帆足市弥太宛)	1825	15.8 × 53.5	紙本墨書	
89	田能村竹田	颶風詩録似太一	1826	24.4 × 33.1	紙本墨書	個人蔵
90	田能村竹田	書簡 (伊藤樵溪宛)	1827	15.9 × 94.7	紙本墨書	大分県立先哲史料館蔵
91	田能村竹田	竹田詩草	1828頃	23.0 × 16.0	紙本墨書	大分県立美術館蔵
92	田能村竹田 著	泡茶新書三種	1831	各12.8 × 8.7	紙・木版	大分県立美術館蔵

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
93	染浦	書簡 (小河一敏宛)	1831	縦16.0	紙本墨書	個人蔵
94	田能村竹田	書簡 (小河一敏宛)	1831	本文 14.4 × 4.2	紙本墨書	個人蔵
95	小河一敏	家譜附録 弐	明治時代	26.3 × 19.4	紙本墨書	個人蔵
96	田能村竹田	書簡(妻さだ宛)	1833	16.3 × 74.3	紙本墨書	大分県立美術館蔵
97	田能村竹田	師友画録 (稿本)	1833	各10.2 × 8.9	紙本墨書	大分県立美術館蔵
98	田能村竹田、 他	江山惜別巻	1833	縦12.5	紙本墨書	個人蔵
99	田能村竹田 著	山中人饒舌	1854	各18.2 × 10.0	紙・木版	大分県立美術館蔵
100		山中人饒舌版木	1835以前	15.6 × 48.5他	木	大分県立美術館蔵
101	田能村竹田	自画題語	1839	各12.8 × 8.8	紙・木版	
102	田能村竹田	亦復一楽帖(複製)	1830~31	20.6 × 23.4	紙本墨画、墨画 淡彩、着色	大分県立先哲資料館蔵
103	田能村竹田	船窓小戯帖(複製)	1829	各21.2 × 12.6	紙本墨画淡彩	大分県立美術館蔵
104	田能村竹田	心経帖(複製)	1833	19.7 × 22.1	紙本墨画	

■常設展示室 1 近・現代の日本画 高山辰雄記念室

テーマ (後期) 近代の版画・日本画

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	溪斎英泉	江戸八景 忍岡の暮雪	1843~47	26.0 × 38.0	紙・木版	
2	歌川広重 (三代)	東都名所 日本ばし雪晴之図	1868~94	25.0 × 37.0	紙・木版	
3	井上安治	東京真画名所図解 本所富士見の渡し	1882	12.3 × 18.7	紙・木版	
4	昇斎一景	六合陸蒸気車鉄道之全図	1871	各22.5 × 32.5	紙・木版	
5	歌川国松	横浜名勝競 内田町よりステーションの図	1880	37.0 × 25.0	紙・木版	
6	小林清親	常盤橋内紙幣寮之図	1880	23.5 × 35.5	紙・木版	
7	楊洲周延	憲法発布式之図	1889	36.5 × 71.8	紙・木版	
8	小泉癸巳男	墨田公園・向島言問	1932	30.0 × 39.0	紙・木版	
9	藤森静雄	大東京十二景の内 外苑の新緑	1933	23.0 × 36.0	紙・木版	
10	橋口五葉	京都三条大橋	1920	30.0 × 48.0	紙・木版	
11	石渡江逸	夜の先斗町	1935	43.0 × 28.0	紙・木版	
12	川瀬巴水	名古屋 堀川	1935	39.0 × 26.0	紙・木版	
13	川西英	日向青島	1939	25.0 × 35.0	紙・木版	
14	北野恒富	新浮世絵美人合 三月 口べに	1924	44.0 × 28.0	紙・木版	
15	竹久夢二	秋のしらべ	1924	18.0 × 21.0	紙・木版	
16	堂本印象	初化粧	1934	51.0 × 30.0	紙・木版	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
17	安井曾太郎	椅子に凭る女	1934	43.0 × 32.0	紙・木版	
18	碓伊之助	裸婦	1929~30	31.0 × 44.0	紙・木版	
19	吉田博	日田筑後川の夕	1927	27.0 × 40.5	紙・木版	
20	川瀬巴水	別府（観海寺）	1926~30	24.0 × 36.0	紙・木版	
21	武藤完一	高崎山	制作年不詳	22.8 × 31.3	紙・木版	
22	武藤完一	魚住滝	1936	22.6 × 19.2	紙・エッチング	
23	織田一磨	伯耆大山遠望	1924	26.0 × 39.0	紙・木版	
24	石川寅治	三保より見たる春の富士	1934	37.5 × 48.0	紙・木版	
25	吉田博	富士	1935	24.5 × 33.2	紙・木版	木村成敏氏・木村謙氏寄贈
26	松本古村・福田平八郎他	十四花草果菜の図	1922	51.8 × 180.0	絹本着色	大分市立荷揚町小学校旧蔵
27	福田平八郎	紫陽花孔雀図	1921	147.5 × 145.6	紙本着色	
28	首藤雨郊	薩摩街道の冬	1921	167.8 × 376.0	綿本着色	首藤洲宏氏寄贈
29	首藤雨郊・本廣禮	山陰絵行脚	1930	各17.8 × 25.8	紙本着色	個人蔵
30	首藤雨郊	村の秋晴れ	1930	227.0 × 186.0	紙本着色	首藤晃良氏寄贈第11回帝展
31	首藤雨郊	秋庭	1938	160.8 × 186.2	絹本着色	
32	本廣禮	菊	1937	191.6 × 192.8	絹本着色	寄託品
33	幸松春浦	竹雀図	1929	各170.0 × 370.0	紙本銀地淡彩	
34	幸松春浦	牧童吹笛図	1930代	84.8 × 99.8	絹本着色	
35	首藤雨郊	稚児焚火図	1936	135.3 × 166.1	紙本着色	首藤洲宏氏寄贈
36	幸松春浦	磯	1940代	181.5 × 74.5	紙本着色	小園貴子氏寄贈
37	本廣禮	水辺風景	不詳	54.2 × 111.0	紙本着色	首藤洲宏氏寄贈
38	牧皎堂	暁山雲図	1923	129.5 × 35.1	絹本着色	
39	牧皎堂	鶴	不詳	111.0 × 40.6	絹本着色	
40	高倉観崖	青緑山水図	1920代	144.8 × 42.1	絹本着色	
41	高倉観崖	児島高德図	1920代	133.4 × 49.5	絹本着色	
42	福田平八郎	竹	1942	径18.3 横51.5	紙本着色	
43	福田平八郎	紅梅	1941	54.5 × 39.2	紙本着色	
44	福田平八郎	紅葉と虹	1947	61.0 × 88.0	絹本着色	第1回現代美術総合展
45	福田平八郎	黄鵠鴿	1957	29.5 × 42.3	紙本着色	
46	福田平八郎	松竹梅	1921	37.6 × 36.4	絹本着色	
47	福田平八郎	静物	1917	径23.0 横53.5	紙本着色	
48	福田平八郎	池辺游魚	1923	140.5 × 41.5	絹本着色	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
49	福田平八郎	寒天	1926	134.7 × 41.5	絹本着色	
50	福田平八郎	雉子	1938	134.0 × 42.2	絹本着色	
51	福田平八郎	鯉	1939	43.2 × 87.2	絹本着色	
52	福田平八郎	紅葉	1950	50.0 × 67.4	絹本着色	
53	高山辰雄	白鷺	1939	各167.7 × 371.4	紙本着色	
54	高山辰雄	湯泉	1934	244.0 × 187.0	絹本着色	第15回帝展
55	高山辰雄	黒いもんぺ	1944	174.2 × 70.6	紙本着色	
56	高山辰雄	由紀子立像	1945	79.4 × 52.0	紙本着色	
57	高山辰雄	少女	1992	100.0 × 75.5	紙本着色	

■常設展示室2 近世の絵画・南画（文人画） 富春館記念室

テーマ （後期） 物語絵の世界

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	作者不詳	奈良絵巻「張良」	1661-81頃	32.7 × 650.0	紙本着色	
2	作者不詳	源平合戦図屏風	江戸時代後期	各159.3 × 374.2	紙本着色	帆足市太氏寄贈
3	作者不詳	源氏物語絵屏風	江戸時代後期	各100.8 × 271.0	紙本着色	帆足市太氏寄贈
4	帆足杏雨	前後赤壁図	1862	各136.8 × 32.2	絹本墨画淡彩	
5	作者不詳	紅白菊籬図屏風	制作年不詳	123.6 × 283.0	紙本着色	帆足市太氏寄贈

■常設展示室3 近代・現代の洋画

テーマ 秋山庄太郎『花逍遙—366日』より一日常のさりげない「美」一

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
1	秋山庄太郎	花逍遙—366日 #12(シロハナゴウカ)	1993	35.2 × 45.7	ゼラチンシルバープリント	
2	秋山庄太郎	花逍遙—366日 #13(ヒゴウカン)	1993	35.2 × 45.7	ゼラチンシルバープリント	
3	秋山庄太郎	花逍遙—366日 #54(スマレ)	1993	35.2 × 45.7	ゼラチンシルバープリント	
4	秋山庄太郎	花逍遙—366日 #67(イカリソウ)	1993	35.2 × 45.7	ゼラチンシルバープリント	
5	秋山庄太郎	花逍遙—366日 #81(ハハコクサ)	1993	35.2 × 45.7	ゼラチンシルバープリント	
6	秋山庄太郎	花逍遙—366日 #87(タンボボ)	1993	35.2 × 45.7	ゼラチンシルバープリント	
7	秋山庄太郎	花逍遙—366日 #114(ツルニチニチソ)	1993	35.2 × 45.7	ゼラチンシルバープリント	
8	秋山庄太郎	花逍遙—366日 #117(キンボウゲ)	1993	35.2 × 45.7	ゼラチンシルバープリント	
9	秋山庄太郎	花逍遙—366日 #151(ナツツバキ)	1993	35.2 × 45.7	ゼラチンシルバープリント	
10	秋山庄太郎	花逍遙—366日 #159(ハナショウブ)	1993	35.2 × 45.7	ゼラチンシルバープリント	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
11	秋山庄太郎	花遣遙—366日 #161(ヒメツキミソウ)	1993	35.2 × 45.7	ゼラチンシル バープリント	
12	秋山庄太郎	花遣遙—366日 #166(アラスカにて)	1993	35.2 × 45.7	ゼラチンシル バープリント	
13	秋山庄太郎	花遣遙—366日 #176(アラスカにて)	1993	35.2 × 45.7	ゼラチンシル バープリント	
14	秋山庄太郎	花遣遙—366日 #191(コウホネ)	1993	35.2 × 45.7	ゼラチンシル バープリント	
15	秋山庄太郎	花遣遙—366日 #283(ミヤマカタバミ)	1993	35.2 × 45.7	ゼラチンシル バープリント	
16	秋山庄太郎	花遣遙—366日 #302(ノコンギク)	1993	35.2 × 45.7	ゼラチンシル バープリント	
17	秋山庄太郎	花遣遙—366日 #305(ヤマハハコ)	1993	35.2 × 45.7	ゼラチンシル バープリント	
18	秋山庄太郎	花遣遙—366日 #307(ヨメナ)	1993	35.2 × 45.7	ゼラチンシル バープリント	
19	秋山庄太郎	花遣遙—366日 #308(シロツメグサ)	1993	35.2 × 45.7	ゼラチンシル バープリント	
20	秋山庄太郎	花遣遙—366日 #318(ノジギク)	1993	35.2 × 45.7	ゼラチンシル バープリント	
21	秋山庄太郎	花遣遙—366日 #325(不明)	1993	35.2 × 45.7	ゼラチンシル バープリント	
22	秋山庄太郎	花遣遙—366日 #335(コスモス)	1993	35.2 × 45.7	ゼラチンシル バープリント	
23	秋山庄太郎	花遣遙—366日 #337(ニシキギ)	1993	35.2 × 45.7	ゼラチンシル バープリント	
24	秋山庄太郎	花遣遙—366日 #346(リンドウ)	1993	35.2 × 45.7	ゼラチンシル バープリント	
25	秋山庄太郎	花遣遙—366日 #348(アサザ)	1993	35.2 × 45.7	ゼラチンシル バープリント	
26	秋山庄太郎	花遣遙—366日 #349(不明)	1993	35.2 × 45.7	ゼラチンシル バープリント	
27	秋山庄太郎	花遣遙—366日 #360(サザンカ)	1993	35.2 × 45.7	ゼラチンシル バープリント	
28	秋山庄太郎	花遣遙—366日 #366(枯草)	1993	35.2 × 45.7	ゼラチンシル バープリント	

■常設展示室4 竹工芸

テーマ 工芸家 生野祥雲齋と河合誓徳

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
1	生野祥雲齋	輪花永芳盛籃	1944	高14.0 径39.0	竹・籐	
2	生野祥雲齋	はなころも	1965	高28.3 径9.0	竹	
3	生野祥雲齋	花衣華入	1965	高28.8 径8.6	竹	
4	生野祥雲齋	花籃 秋苑	1946	高32.0 径34.0	竹・籐	
5	河合誓徳	花影Ⅱ	1987	13.0×38.0×29.0	磁器	
6	河合誓徳	色絵盛器	1977	高8.7 径20.0	磁器	
7	河合誓徳	望	1997	31.2×44.0×27.2	磁器	
8	河合誓徳	浅春	2004	6.4×62.5×37.0	磁器	

3. 2. 3. 第4期常設展

平成31年1月16日～4月7日

(常設展示室2 前期：2月24日まで 後期：2月26日から)

■常設展示室1 近・現代の日本画 高山辰雄記念室

テーマ 山水画と風景画

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	首藤白陽	雪景山水図	19世紀後半	37.2 × 81.4	絹本墨画淡彩	寄託品
2	岩澤重夫	由布岳	1985	65.0 × 91.0	紙本着色	
3	高山辰雄	夕	1955	64.5 × 93.7	紙本着色	第3回日本国際美術展
4	高山辰雄	青い空	1957	41.2 × 57.9	紙本着色	
5	高山辰雄	山	1959	43.4 × 57.0	紙本着色	
6	高山辰雄	夜明け	1965	41.0 × 53.0	紙本着色	
7	高山辰雄	広場のカフェ	1977	37.0 × 54.0	紙本墨画淡彩	『アッシジへ行く』展
8	高山辰雄	南の陽	1977	35.0 × 130.0	紙本墨画	『アッシジへ行く』展
9	高山辰雄	豊山豊水	1985	35.0 × 65.0	紙本着色	
10	高山辰雄	限りなき大分 昔を歩く	1981	39.0 × 55.8	紙・リトグラフ	
11	高山辰雄	限りなき大分 潮の香	1981	38.0 × 55.0	紙・リトグラフ	
12	高山辰雄	限りなき大分 雨あがる高原	1981	38.4 × 55.6	紙・リトグラフ	
13	高山辰雄	限りなき大分 水しずか	1981	39.5 × 55.8	紙・リトグラフ	
14	高山辰雄	限りなき大分 春を待つ	1981	38.2 × 55.0	紙・リトグラフ	
15	高山辰雄	限りなき大分 現代のいぶき	1981	38.0 × 55.0	紙・リトグラフ	
16	高山辰雄	限りなき大分 空に映ゆる	1981	38.1 × 54.5	紙・リトグラフ	
17	高山辰雄	燈	1985	211.5 × 139.5	紙本着色	日月星辰－高山辰雄展1985
18	高山辰雄	豊後里道に月を見る	2005	153.8 × 100.0	紙本金砂子墨画	第37回改組日展
19	高山辰雄	限りなき大分 明けゆく川	1981	38.5 × 54.9	紙・リトグラフ	
20	高山辰雄	限りなき大分 道を求めて	1981	37.5 × 54.7	紙・リトグラフ	
21	高山辰雄	限りなき大分 槌の響	1981	38.2 × 55.2	紙・リトグラフ	
22	佐藤勝彦	那須	不詳	108.0 × 134.0	紙本着色	
23	箱崎睦昌	桜島	1988	210.0 × 560.0	紙本着色	第5回横の会展
24	後藤純男	北国山頂	1963	72.8 × 91.0	紙本着色	
25	白井進	山	1991	182.0 × 227.0	紙本着色	
26	伊藤髟耳	怡色	1995	180.0 × 360.0	紙本着色	
27	伊藤深游木	流れる	1991	220.0 × 161.0	紙本着色	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
28	中野嘉之	奥入瀬 (霜月)	1991	各175.8 × 352.0	紙本着色	第8回横の会展
29	林潤一	懸泉白水	1993	168.0 × 185.0	紙本着色	第10回横の会展
30	鳥越煙村	米法山水	江戸時代後期	131.2 × 55.8	紙本墨画淡彩	二宮健氏寄贈
31	甲斐虎山	秋山訪隠	1906	160.6 × 52.4	紙本墨画淡彩	
32	加納雨篷	淡彩山水	1925	155.8 × 36.2	絹本墨画淡彩	
33	平野古桑	柳陰独居	1909	129.5 × 41.8	絹本墨画	二宮健氏寄贈
34	平野古桑	懸崖飛泉	1915	135.8 × 41.5	絹本着色	二宮健氏寄贈
35	平野古桑	水墨山水	1931	125.5 × 27.4	絹本墨画	二宮健氏寄贈
36	平野古桑	松山鶴亭	1926~35	148.0 × 41.6	絹本着色	二宮健氏寄贈
37	松本古村	風雨渡船図	1930	154.0 × 145.5	絹本着色	
38	牧皎堂	山水図	不詳	136.0 × 32.0	紙本墨画淡彩	
39	高倉観崖	蘇水春漲	1926	132.8 × 27.2	紙本墨画淡彩	二宮健氏寄贈
40	高倉観崖	秋景山水図	1920代	各133.6 × 36.3	絹本着色	
41	高倉観崖	青山白雲帖	1936	各33.0 × 48.0	紙本着色	
42	幸松春浦	青緑山水図	1920	144.5 × 40.3	絹本着色	二宮健氏寄贈
43	幸松春浦	秋溪幽居図	1927	148.8 × 29.2	紙本墨画淡彩	二宮健氏寄贈
44	渡辺雲僊	深耶馬溪錦豊	1936	240.0 × 120.0	絹本着色	中山孝之氏寄贈
45	渡辺雲僊	羅漢寺白光	1936	240.0 × 120.0	絹本着色	中山孝之氏寄贈
46	福田平八郎	羅漢寺	1916	134.0 × 54.0	紙本着色	
47	福田平八郎	冬日	1945	53.5 × 39.5	紙本着色	
48	福田平八郎	暖冬	1952	46.3 × 66.8	絹本着色	
49	牧皎堂	南九州三大社図	1938	各127.7 × 40.8	絹本着色	寄託品
50	高倉観崖	元政庵の春 石峰寺の秋	1936	各145 × 27.6	絹本着色	
51	竹久夢二	猪苗代湖畔	1930	135.5 × 32.0	紙本墨画淡彩	
52	村上空峯	湯けむりの湯の花小屋	1990	172.0 × 345.0	紙本着色	第40回新興美術院展／40回記念賞 村上元慶氏寄贈
53	正井和行	鯰	1971	161.0 × 222.0	紙本着色	第3回改組日展
54	岩澤重夫	郷	1987	191.0 × 180.0	紙本着色	第19回改組日展

■常設展示室2 近世の絵画・南画（文人画） 富春館記念室

テーマ （前期）招福！笑う絵画

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	上田耕冲	蛭子大黒図	幕末～明治時代	各95.4 × 33.3	絹本着色	帆足市太氏寄贈
2	淵野真斎	寿老人図	1822	114.2 × 54.4	紙本淡彩	
3	淵上旭江	郭子儀図	江戸時代後期	102.6 × 33.0	絹本墨画淡彩	
4	伝 円山応挙	童子琴棋書画図	江戸時代中期	各112.2 × 50.9	絹本着色	帆足市太氏寄贈
5	田能村直入	羅浮仙女図	明治時代	114.5 × 36.8	絹本着色	帆足市太氏寄贈
6	狩野常信	高士囲碁喫茶図屏風	江戸時代前期	各171.5 × 379.4	紙本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
7	帆足杏雨	浅絳山水図	1835	123.0 × 50.5	絹本墨画淡彩	
8	帆足杏雨	雪溪吟鞭図	1837	143.0 × 51.7	紙本墨画淡彩	
9	平野五岳	十六羅漢図	1884年	134.5 × 40.0	紙本墨画淡彩	
10	田中介眉	白衣大士図	不詳	27.8 × 12.0	紙本墨画	
11	超 珣	出山釈迦図	清時代	109.8 × 39.0	絹本墨画	帆足市太氏寄贈
12	長澤蘆雪	漁父図	江戸時代中期	124.9 × 54.2	紙本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
13	黄 慎	漁父図	1792	135.4 × 37.6	絹本墨画淡彩	
14	淵野桂仙	鉄拐仙人図	1858	136.3 × 135.9	紙本墨画着色	帆足市太氏寄贈
15	作者不詳	酒徒会飲図	清時代	78.0 × 139.6	紙本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈

テーマ （後期）生誕210年平野五岳

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	平野五岳	松溪遊鶴図	1844	140.0 × 51.5	紙本墨画淡彩	
2	平野五岳	梅花書屋図	1846	112.5 × 35.5	絹本墨画淡彩	
3	平野五岳	青山緑樹図	1850	144.7 × 49.4	絹本墨画淡彩	
4	平野五岳	春山溪閣図	1856	114.1 × 36.0	絹本墨画淡彩	
5	平野五岳	秋溪幽居図	1857	131.5 × 52.5	絹本墨画淡彩	
6	平野五岳	危巖松風図	1861	133.3 × 48.5	絹本淡彩	
7	平野五岳	風雨渡江図	1861	147.0 × 52.1	絹本墨画淡彩	
8	平野五岳	白雲紅樹図	1862	125.2 × 41.7	絹本墨画淡彩	
9	平野五岳	春山書屋図	1863	174.7 × 60.8	紙本墨画	
10	平野五岳	松林山水図	1868	149.0 × 66.0	絹本墨画	
11	平野五岳	青山白雲図	1870	172.8 × 66.4	絹本墨画淡彩	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
12	平野五岳	松蔭吟艇図	1870	150.0 × 50.7	絹本墨画	
13	平野五岳	柳陰帰漁図	1871	147.0 × 51.5	絹本墨画淡彩	
14	平野五岳	梅花書屋図	1877	175.8 × 95.5	紙本墨画淡彩	
15	平野五岳	瓶花図	1887	156.8 × 51.2	絹本墨画淡彩	
16	平野五岳	翠巖飛泉図	1885	198.0 × 73.8	紙本墨画	
17	平野五岳	紅梅図	1886	144.7 × 46.3	紙本墨画淡彩	
18	平野五岳	老松図	1892	151.8 × 52.7	絹本墨画	

■常設展示室3 近代・現代の洋画

テーマ 花を描く

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
1	吉村益信	菜の花畑	1974	97.2 × 162.0	油彩・キャンバス	
2	白根光夫	繚乱吉野山図	1990	各175.0 × 380.0	油彩・板	
3	田中昇	ひまわり	1971	53.0 × 45.0	油彩・キャンバス	田中香氏寄贈
4	片多徳郎	牡丹花三輪	1922	50.0 × 59.5	油彩・キャンバス	
5	片多徳郎	五輪牡丹図	1932	45.5 × 53.2	油彩・キャンバス	
6	権藤種男	百合	1927	44.0 × 51.0	油彩・キャンバス	首藤泰比古氏寄贈
7	権藤種男	桜並木	1930	45.0 × 58.0	油彩・キャンバス	首藤泰比古氏寄贈
8	権藤種男	牡丹	1930	15.0 × 21.5	油彩・紙	首藤泰比古氏寄贈
9	権藤種男	庭	1949	70.0 × 89.0	油彩・キャンバス	権藤美代氏寄贈
10	江藤純平	椿	1931	73.0 × 91.0	油彩・キャンバス	江藤クニ子氏寄贈
11	江藤哲	椿	1973	58.0 × 32.5	油彩・キャンバス	赤坂初子氏寄贈
12	佐藤敬	Fleur de Pierre (石の花)	1960	59.4 × 29.3	油彩・キャンバス	
13	宇治山哲平	石と花	1952	23.0 × 33.0	油彩・キャンバス	
14	糸園和三郎	小卓上の枯れ花	1962	45.5 × 53.0	油彩・キャンバス	
15	武田由平	花	1965	95.0 × 77.0	木版・紙	
16	熊谷守一	百合	1966	34.2 × 24.5	木版・紙	
17	熊谷守一	花	1966	34.1 × 24.0	木版・紙	
18	岸本清子	黎明 (日本の花シリーズ・山桜)	1984	183.0 × 183.0	アクリル・板	
19	岸本清子	夜 (日本の花シリーズ・山桜)	1984	183.0 × 183.0	アクリル・板	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
20	菅久	作品A(黒い花)	1953	60.6 × 45.5	油彩、コールド タール・キャン パス	
21	菅久	夕紅	2001	181.8 × 227.3	油彩・キャンパス	
22	菅久	別府湾暮色	2007	159.0 × 224.5	油彩・キャンパス	
23	菅玲子	子どもの春 (さくらと仔犬)	2011	72.7 × 90.9	アクリル・キャン パス	
24	赤木範陸	3つの薔薇のための コンポジション	1994	140.0 × 55.0	エンコステック・ 生キャンパス	

■常設展示室4 竹工芸

テーマ 竹を編む技

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
1	生野祥雲齋	忍竹柵網代編文庫	1930	高8.0×33.0×27.0	竹・籐	
2	生野祥雲齋	手付果物籃	1956	高22.0×34.5× 20.7	竹・籐・金属	
3	生野祥雲齋	無双編盛籃	1963	高9.0 径30.0	竹	
4	安倍基	波の光	2002	103.0×74.0	竹・木	
5	生野祥雲齋	竹筥	1964	高16.0×32.0× 32.0	竹・籐	
6	生野祥雲齋	文人投入花籠	1929	高60.0 径9.0	竹	
7	生野徳三	白竹の籠「海宇」	1998	高26.0 54.0	竹・籐	
8	山口明	花車	2002	高32.0 径53.0	竹・籐	
9	田辺信幸	櫛目組竹飾籠「宴」	2003	43.0×36.6	竹・籐	

3. 3. サマー企画

アート・ワンダーランド2018

概要 アート・ワンダーランドは、子どもたちに、楽しく、興味を持って美術を鑑賞してもらうための展覧会で、本年は「想像してみ展！」と題して、それぞれの展示室ごとに想像してもらうテーマを設け、テーマに沿って作品を印象深く見てもらい、想像しながら楽しく鑑賞できるようにした。

会期 平成30年7月10日（火）～9月24日（月） 公開日数 74日間

主催 大分市美術館

後援 大分合同新聞社、NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、J:COM 大分ケーブルテレコム、エフエム大分、ゆふいんラヂオ局

出品点数 77点

観覧者数 23,538人

観覧料 一般 300(250)円/高大生 200(150)円、中学生以下無料
※（ ）内は 20名以上の団体料金

関連事業 ■夏休みアートサポーター

日時 平成30年7月21日、24日、28日、30日

8月4日、7日、11日、14日、18日、21日、25日

午後1時30分～3時30分

場所 常設展示室内

相談員 大分市美術館ボランティア「こもれ美」トークグループ

印刷物 ワークシート A3 二つ折り

未就学児用 5,000部 小学校低学年用 15,000部 小学校高学年用 14,000部
中学生用 17,000部

シールシート

未就学児用、小学校低学年用、小学校高学年用 各 15,000枚

(担当 椎原)

サマー企画 アート・ワンダーランド2018 目録

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	足利桂子	ヨハンの昔話	2001	162.0 × 162.0	油彩・キャンバス	足利桂子氏寄贈
2	中路融人	爽晨	1984	145.6 × 210.3	紙本着色	
3	佐藤敬	Notre Dame du Paris	1932	54.0 × 64.0	油彩・キャンバス	
4	岩尾秀樹	水田と海	1998	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	
5	田淵俊夫	刻	1992	338.0 × 165.0	紙本着色	
6	田近竹邨	桐陰遺興図	1917	170.5 × 52.0	絹本着色	
7	平野古桑	青山紅樹図	制作年不詳	173.0 × 52.3	絹本着色	
8	松本古村	山中高士図	制作年不詳	128.5 × 50.5	絹本着色	浦邊宗紀氏寄贈
9	脇坂秀樹	街がある	1969	130.3 × 162.1	油彩・キャンバス	脇坂秀樹氏寄贈
10	小杉小二郎	回想 (A)	1985	130.0 × 160.0	油彩・キャンバス	
11	郷倉和子	縹渺	1992	140.0 × 360.0	紙本着色	
12	糸園和三郎	四つのビルディング	1974	130.0 × 97.0	油彩・キャンバス	
13	オスクルト・ガルシア	無題	制作年不詳	72.0 × 50.0	リトグラフ・紙	木村成敏・ 木村讓氏寄贈
14	山本富章	ホーラ (Horus)	1991	182.7 × 273.0	ミクスドメディア	
15	千住博	ユモレスク (B)	1991	162.1 × 227.3	紙本着色	
16	高山辰雄	聊斎志異 視る	1978	14.0 × 18.0	エッチング・紙	
17	鈴木忠実	霧を行く	2002	160.5 × 259.7	紙本着色	鈴木忠実氏寄贈
18	森田曠平	立木観世音	1988	205.0 × 250.0	紙本着色	
19	佐藤溪	茶館にて	1952	42.3 × 41.1	油彩・板	
20	黒澤明	乱 次郎の陣	1985	49.0 × 36.0	リトグラフ・紙	木村成敏・ 木村讓氏寄贈
21	横山大観	後赤壁	1902	167.3 × 70.7	絹本着色	
22	田近竹邨	題石図・樹下一夢図 屏風 (一双のうち)	1897	各隻173.5 × 185.6	紙本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
23	里見勝蔵	観音像	1943	112.1 × 162.1	油彩・キャンバス	
24	林功	江南光風 (右隻)	1991	各隻166.8 × 184.0	絹本着色	
25	朝倉美彌子	燈光	2002	175.0 × 210.0	紙本着色	朝倉美彌子氏寄贈
26	仲町謙吉	きものの女	1961	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	
27	渡辺宏	或るプラン	1971	194.0 × 194.0	油彩・キャンバス	
28	後藤龍二	そこにある0403	2004	161.0 × 129.0	油彩・キャンバス	後藤龍二氏寄贈
29	大津英敏	白い風	1995	160.0 × 130.0	油彩・キャンバス	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
30	工藤和男	働く人	1970	160.0 × 130.0	油彩・キャンバス	
31	釘宮對宏	流水自帰	1977	168.0 × 62.0	紙本墨画淡彩	
32	高山辰雄	黒い服の少女	1948	57.5 × 53.5	絹本着色	
33	幸寿	無題1	1954	41.0 × 31.8	油彩・キャンバス	佐藤雄大氏寄贈
34	児玉成弘	曇り日の患者	1977	162.0 × 112.0	油彩・キャンバス	児玉成弘氏寄贈
35	浜田知明	詩人	1963	26.1 × 21.1	エッチング、 アクアチント・	
36	浜田知明	叫び(銅版画集 『曇後晴』)	1975	21.5 × 21.6	エッチング、 アクアチント・	
37	浜田知明	ポタン(A)	1988	32.5 × 35.5	エッチング、 アクアチント・	
38	浜田知明	かげ(銅版画集 『曇後晴』)	1977	21.7 × 15.3	エッチング、 アクアチント・	
39	高倉観崖	遠山秋雨	1927	145.0 × 51.0	絹本着色	藤原文子氏寄贈
40	平野遼	逃げる一団	1972	160.0 × 130.0	油彩・キャンバス	
41	伊藤彰耳	怡色	1995	180.0 × 360.0	紙本着色	
42	村田茂樹	樹間	1993	165.0 × 504.0	紙本着色	
43	多邨常	朝陽	1993	130.5 × 162.0	油彩・キャンバス	多村裕子氏寄贈
44	浜田知明	馬は何故風邪をひくか	1972	17.8 × 15.0	エッチング・紙	
45	幸松春浦	小禽図	1950代	48.8 × 54.1	紙本着色	橋本祥案氏寄贈
46	櫛田永養	鷹図屏風(一双のうち)	江戸時代前期	各隻172.5 × 185.0	紙本金地墨画着色	帆足市太氏寄贈
47	久間清喜	翠(GREEN)	1998	180.0 × 90.0	アクリル・板	久間清喜氏寄贈
48	吉村益信	PLUS&MINUS ONE DIMENTION イシガキ ダイ	1975	60.5 × 44.3	シルクスクリーン・紙	首藤政美氏寄贈
49	飯尾寿夫	草原にてVI	1977	193.9 × 130.3	油彩・キャンバス	飯尾寿夫氏寄贈
50	矢岡勲	界	1991	181.8 × 227.3	油彩・キャンバス	
51	見塩芙枝	深夜の対話	1977	79.6 × 59.8	リトグラフ、シ ルクスクリー	首藤政美氏寄贈
52	安藤泉	進化論	1985	35.0 × 80.0 × 40.0	鍛金・純銅板、 大理石粉	
53	児玉成弘	時華-2003.7 青へのプロセス	2003	194.0 × 259.0	アクリル、ウレタ ン樹脂・キャンバ	
54	廣瀬通秀	寓話	1966	227.3 × 181.8	油彩・キャンバス	廣瀬通秀氏寄贈
55	谷口晶之	イヴ五題(1)	1980	52.0 × 38.5他	シルクスクリー ン・紙(五点組)	谷口晶之氏寄贈
56	谷口晶之	イヴ五題(2)	1980	52.0 × 38.5他	シルクスクリー ン・紙(五点組)	谷口晶之氏寄贈
57	谷口晶之	イヴ五題(3)	1980	52.0 × 38.5他	シルクスクリー ン・紙(五点組)	谷口晶之氏寄贈
58	谷口晶之	イヴ五題(4)	1980	52.0 × 38.5他	シルクスクリー ン・紙(五点組)	谷口晶之氏寄贈
59	谷口晶之	イヴ五題(5)	1980	52.0 × 38.5他	シルクスクリー ン・紙(五点組)	谷口晶之氏寄贈

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
60	山崎芳直	ポエジアB	1999	145.5 × 145.5	油彩・キャンバス	山崎泰子氏寄贈
61	佐藤亜土	W・Z	制作年不詳	62.0 × 42.0	エッチング・紙	
62	宇治山哲平	爽	1982	129.6 × 129.8	油彩・キャンバス	
63	歌川国貞 (三代豊)	擬五行尽之内 火	1852	各36.0×25.0	木版画・ 紙 (二枚組)	
64	豊原国周	紅葉狩	1898	各35.0×24.0	木版画・ 紙 (三枚組)	
65	加納光於	ソルダード・ブルー (SOLDERED BLUE)	1965	15.8 × 10.0	メタルプリント・紙	
66	瑛九	四人	1957	24.0 × 41.0	リトグラフ・紙	
67	赤木範陸	ある女の変容の為 の習作	1985	91.5 × 91.5	蜜蝋・生キャンバス	赤木範陸氏寄贈
68	赤木範陸	ある女の変容	1986	183.1 × 182.4	ワックス・ 板に白亜地	赤木範陸氏寄贈
69	二宮秀夫	人(Ⅲ)	1983	182.0 × 227.0	油彩・キャンバス	二宮玲子氏寄贈
70	生野祥雲齋	波紋	1961	78.0 × 138.8	竹、ガラス繊維、木	
71	岩津都子	熙	1990	160.0 × 130.0	レザークラフト	岩津都子氏寄贈
72	田辺信幸	篠竹つぶし花籠 「蹲」	2001	高34.0 径50.0	竹	
73	生野祥雲齋	紫竹投入華籃	1955頃	高41.5 径14.0	竹	
74	河合誓徳	富貴	1981頃	径16.5 径7.5	磁器	
75	此君亭工房	七宝紋こっぷ受	昭和後期	高1.5 径6.8	竹	生野徳三氏寄贈
76	此君亭工房	四極盆 (大、手付)	1980頃	17.0×27.0×24.5	竹・籐	生野徳三氏寄贈
77	此君亭工房	四極皿	昭和後期	1.8×13.0×10.8	竹	生野徳三氏寄贈

3. 4. まちなかアートフルロード推進事業

アートフルロードプロジェクト CIAO!2018

概要 多くのにぎわいが生まれている大分市中心市街地（まちなか）と緑豊かな上野の森がある大分市美術館で、さまざまなジャンルのアーティストや市民参加による展覧会・イベントを実施しているアートフルロードプロジェクト。

今回は「第33回国民文化祭・おおいた2018／第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」の会期に合わせて開催した。

また、本年度は大分市美術館開館20周年にあたり、会期中の11月10日（土）、11日（日）には特別イベント「上野の森アートフェスタ」を開催した。

会期 平成30年10月5日（金）～11月25日（日） 公開日数 46日間
※一部プレ展示を実施
※会期中複数の展覧会、イベントを順次実施

主催 大分市美術館

後援 大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、J:COM大分ケーブルテレコム

協力 株式会社大分合同新聞折込広告センター、社会福祉法人暁雲福祉会「元気のでるアート!」実行委員会、作業所ゆう、社会福祉法人萌葱の郷ART STORAGE、田崎洋酒店

観覧者数（総入場者数） 11,483人

観覧料 無料

会期中実施行事

①勝正光 イベント「今年も!似顔絵描きます」(田崎洋酒店)

10月7日、14日、21日、28日

11月4日、11日、18日、25日

②Kana イベント「Kanaと巡るアートの旅」(市美術館～まちなか～県立美術館)

10月20日

③サバコ 作品展示(アプローチテラス)

10月5日(金)～11月25日(日)

ナイトミュージアム☆サバコトーク(ティーラウンジ)

11月10日※上野の森アートフェスタ

④芝田知明 イベント「公開制作」(中庭)

11月10日、11日※上野の森アートフェスタ

⑤株式会社大分合同新聞折込広告センター(協力)

作品展示「おおいたチラシ・カミ エコアート展」(ホワイエ他)

9月28日(金)～10月14日(日)
作品展示「チラシアカデミー作品展」(ホワイエ他)
10月16日(火)～11月4日(日)

⑥社会福祉法人暁雲福祉会(協力)

「風人(ふうと)展」(研修室)

10月16日(火)～10月28日(日)

※「第33回国民文化祭・大分2018 第18回全国障害者芸術・文化祭おおいだ大会 回遊
劇場～ひらく・であう・めぐる～障がい者施設アート作品展」と共同実施

⑦元気のでるアート!実行委員会(協力)

「元気のでるアート!」(研修室)

10月30日(火)～11月11日(日)

「元気のでるアート!ねこ」(ホワイエ)

11月6日(火)～11月11日(日)

「元気のでるアート!」イベント

11月11日

- ・缶バッジづくり
- ・安部侑朔、甲斐瞳ライブペインティング
- ・中野マーク周作ワークショップ「粘土で遊ぼう」

⑧作業所ゆう(協力)

「“こんにちは、ゆうです。”展」(研修室)

11月13日(火)～11月18日(日)

※「第33回国民文化祭・大分2018 第18回全国障害者芸術・文化祭おおいだ大会 回遊
劇場～ひらく・であう・めぐる～障がい者施設アート作品展」と共同実施

⑨「省吾連」メンバー

「省吾連」(ホワイエ他)

11月17日(土)～11月25日(日)

映画『日常』上映会(研修室)

11月24日

トークセッション「ジョイントをつくる」(研修室)

11月24日

特別イベント「上野の森アートフェスタ」11月10日、11日

- ・芝田知明公開制作10日、11日(前掲)
- ・美術館で音楽会 10日フルートアンサンブルみどりつる、Mars(まーず)
※市美術館普及事業と共同実施
- ・ナイトミュージアム☆サバコトーク10日(前掲)
- ・誰でもフェイスペイント猫 or ライオン11日
- ・元気のでるアート!イベント11日(前掲)

印刷物 チラシ A3 判

(担当 岡村)